

OLYMPUS

ボイストレック

VP-10

取扱説明書

準備

1

録音について

2

再生について

3

メニューについて

4

パソコンでの活用について

5

資料

6

お買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

失敗のない録音をするために試し録りをしてください。

ご使用前に「安全に正しくお使いいただくために」(P.118～P.121)を
必ずお読みください。

JP

ICレコーダーを活用しよう!

お買い上げいただきありがとうございます。
ICレコーダーの活用方法として一例をご紹介します。

本機には状況に応じた録音設定があらかじめ登録されています。簡単な操作で最適な設定に切り替わります。あとは録音をスタートするだけです (P.28)。

商談や会話のやりとりを録音する (録音シーン:[商談][ポケット])



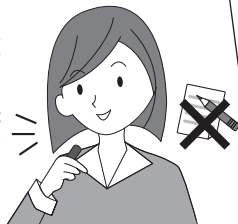
胸ポケットに入れたままでも録音できます。本機を手で持つ必要が無いので、録音中も両手が使えて便利です。

会議や講義を録音する (録音シーン:[会議])

大事な会議や講義などの録音にピッタリ。議事録を作成するときは[再生シーン]機能を使うと便利です。

メモがわりに使う (録音シーン:[メモ])

伝言やスケジュールの変更などをメモとして録音します。片手ですぐに録音できるので手帳に記入するより簡単です。



MP3 プレーヤー として

パソコンに接続して本機のMUSICフォルダに語学学習ファイルや音楽ファイルを転送すれば再生できます (P.104、P.107)。

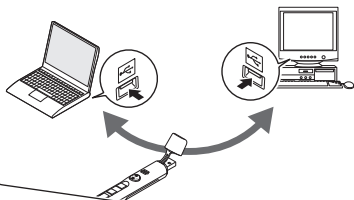


※ イヤホンは付属していません。

- **ファイルへのアクセスもデジタルならすぐに見つかる。**
▶◀ ボタンを押すたびに各ファイルの先頭位置へスキップします。
- **重ね録りはしません。**
次々と録音しても過去のファイルが上書きされて消えることはありません。

パソコンに直接接続

大容量 USB メモリとして使用可能。パソコン間における画像データなどの受け渡しに使用できます (P.106)。



自分のペースで スピード調整

長時間に渡る会議の内容確認には早聞き再生が、速くて聞き取りにくい外国語の発音は遅聞き再生が役立ちます (P.34)。

2.0 倍速

一定の音程で再生

標準再生

一定の音程で再生

0.5 倍速

一定の音程で再生



ご注意

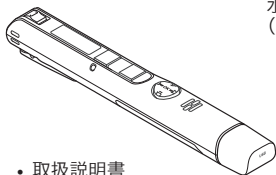
- **お買い上げ時の電池は十分に充電されていません。録音の前には必ず充電してください (P.19)。**

スタートガイド

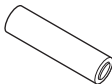
そろって
いますか？

箱の中身を確認しましょう

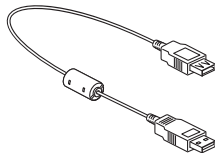
本体



単4形ニッケル
水素充電池
(BR404) (1本)



USB 延長ケーブル
(KP19)



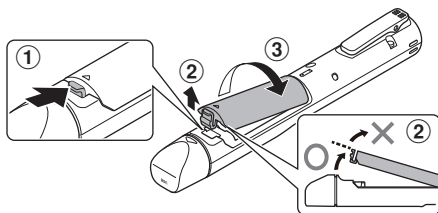
- 取扱説明書
(保証書付)

準備

1

電池を入れましょう

- 1 電池カバーのロック解除ノブを矢印の方向に押しながら、電池カバーを開ける。

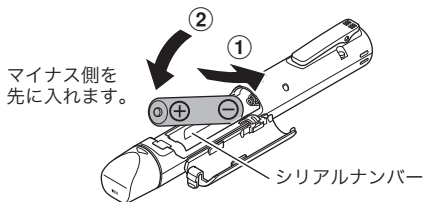


電池カバーは無理に
開かないようにして
ください。

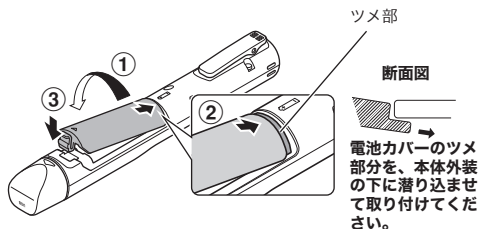
準備

1

- ② 単4形電池の⊕ と ⊖ を正しい向きで入れる。



- ③ 電池カバーを完全に閉める。



シリアルナンバーについて

本機の電池室内にシリアルナンバーが記載されています。巻末の保証書に書き写してください。

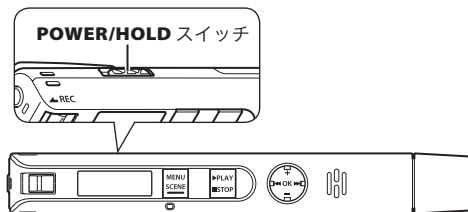
ご注意

- 電池カバーロックがカチッと音がするまでしっかりと閉めてください。

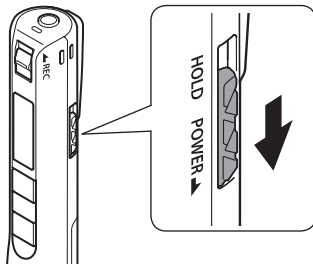
準備

2

電源を入れましょう



- 1 POWER/HOLD スイッチを矢印の方向へスライドさせる。



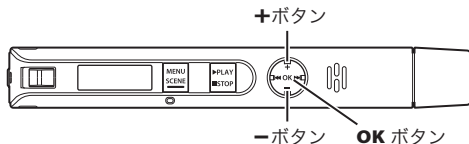
電源を切るには

- 電源を切るときは **POWER/HOLD** スイッチを矢印の方向へ 0.5 秒以上スライドさせてください。

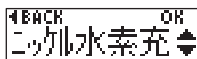
準備

3

電池の種類を設定しましょう

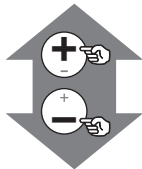


- ① + または - ボタンを押して電池の種類を選ぶ。



【ニッケル水素充電電池】：(Ni)

付属のオリンパス製ニッケル水素充電電池 (BR404) を入れた場合。



【アルカリ乾電池】：(Al)

市販のアルカリ乾電池を入れた場合。

- ② OK ボタンを押して設定を確定する。

ヒント

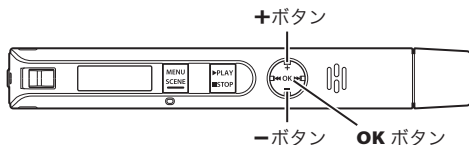
- メニュー操作でも同様に電池の設定ができます (P.89)。
- 設定内容を確認する場合は、OK ボタンで表示を切り替えて確認できます (P.29、P.38)。

準備

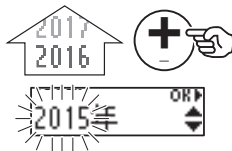
4

日時を合わせましょう

日付と時刻を設定しておく、「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。あらかじめ日付・時刻を合わせてください。



- 1** +または-ボタンを押して [年] を選ぶ。

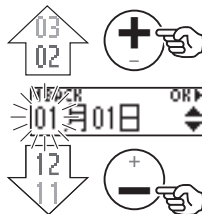


・この画面が表示されない場合は「日付・時刻を合わせる【時計設定】」をご覧ください (P.90)。

- 2** OK ボタンを押して次へ進む。



- 3** +または-ボタンを押して [月] を選ぶ。



- 4** OK ボタンを押して次へ進む。

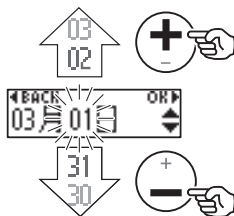


・I◀◀ ボタンを押すと1つ前の画面に戻ります。

準備

4

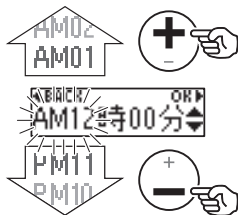
- 5 + または - ボタンを押して [日] を選ぶ。



- 6 OK ボタンを押して次へ進む。



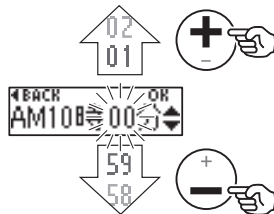
- 7 + または - ボタンを押して [時] を選ぶ。



- 8 OK ボタンを押して次へ進む。



- 9 + または - ボタンを押して [分] を選ぶ。



- 10 OK ボタンを押すと時計が動き始めます。

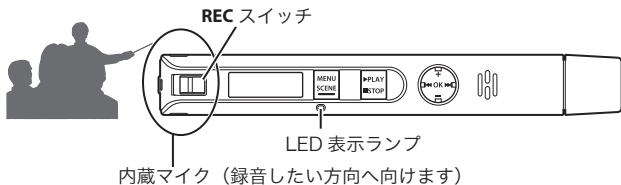
ヒント

- 時計表示を AM/PM または 24 時間表示に切り替えられます。詳しくは「日付・時刻を合わせる [時計設定]」をご覧ください (P.90)。

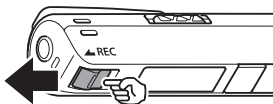
Step

1

録音してみましょう



- REC** スイッチを矢印の方向へスライドさせて、録音を開始する。



フォルダ内のファイル番号 /
フォルダ内の総ファイル数

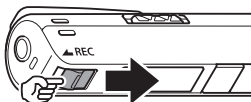


録音表示

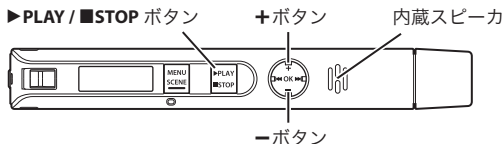
録音経過時間

- ・ LED 表示ランプが点灯し、ディスプレイに [●] が点灯します。

- REC** スイッチを矢印の方向へスライドさせて、録音を停止する。



停止表示

Step
2今録音したファイルを
聞いてみましょう

- ① ▶PLAY / ■STOP ボタンを押して再生を開始する。



フォルダ内のファイル番号/
フォルダ内の総ファイル数



再生表示

再生経過時間

- ② +または−ボタンを押して聞きやすい音量にする。



音量大



音量小



[00] ~ [30]

- ③ ▶PLAY / ■STOP ボタンを押して再生を停止する。

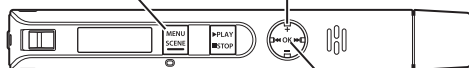


Step
3今聞いたファイルを
消してみましょ

録音および再生を停止させてから行ってください。

MENU/SCENE ボタン

+ ボタン



OK ボタン

ご注意

- 消したファイルは元に戻せません。消去の前には確認してください。
- 表示されているファイルが消去されます。

1 ◀◀または▶▶ボタンを押して消去するファイルを選ぶ。



この番号のファイルが消去されます。消去後は番号が自動的に繰り上がります。

2 MENU/SCENE ボタンを押す。



Step
3

③ OK ボタンを押す。



- ・ ◀◀ ボタンを押すと 1 つ前の画面に戻ります。
- ・ 消去操作を中止するときは、▶▶PLAY/■STOP ボタンを押します。
- ・ 操作中に 3 分間何も操作しないと停止状態に戻ります。

④ OK ボタンを押す。

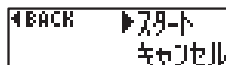


⑤ OK ボタンを押す。

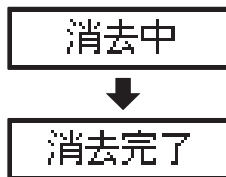


- ・ 操作中に 8 秒間何も操作しないと 1 つ前の画面に戻ります。

⑥ + ボタンを押して [スタート] を選ぶ。



⑦ OK ボタンを押す。



2 ICレコーダーを活用しよう！

スタートガイド

- 4 電池を入れましょう
- 6 電源を入れましょう
- 7 電池の種類を設定しましょう
- 8 日時を合わせましょう
- 10 録音してみましょう
- 11 今録音したファイルを聞いてみましょう
- 12 今聞いたファイルを消してみましょう

1 準備

- 16 各部のなまえ
 - 16 レコーダー
 - 17 ディスプレイ
- 19 充電する
 - 19 パソコンのUSB端子に接続して充電する
 - 21 別売りのUSB接続ACアダプタ(A514)に接続して充電する
- 23 電池について
- 24 電源を切る
 - 24 電源を切る

2 録音について

- 25 録音する
 - 25 基本的な録音のしかた

- 28 おまかせの録音設定を選ぶ
【録音シーン】
 - 28 録音シーンの選びかた
- 29 録音時の画面表示を切り替える

3 再生について

- 30 再生する
 - 30 基本的な再生のしかた
 - 31 早送りをするには
 - 31 早戻しをするには
 - 32 ファイルの頭出しをするには
- 33 おまかせの再生動作を選ぶ
【再生シーン】
- 34 再生スピードを変更する
- 35 インデックスマーク・テンプマークについて
 - 35 インデックスマーク・テンプマークを付ける
- 37 誤操作を防止する
- 38 停止時・再生時の画面表示を切り替える
- 39 録音した日付でファイルを探す
- 41 消去する
 - 41 ファイルを消去する

4 メニューについて

- 43 メニュー設定のしかた
 - 43 基本的な操作のしかた
- 45 メニューの一覧

ページ タイトル

50 ファイルメニュー【ファイル編集】

- 50 ファイルの誤消去を防止する
[ファイルロック]
- 52 ファイルを分割する [ファイル分割]
- 54 ファイルの情報を見る [プロパティ]

56 録音メニュー【録音設定】

- 56 録音感度を選択する [録音レベル]
- 58 録音モードを設定する [録音モード]
- 60 摩擦による雑音を軽減して録音する
[擦れ音フィルタ]
- 62 ノイズを軽減して録音する
[ローカットフィルタ]
- 63 音声起動録音機能を使う [VCVA]

65 再生メニュー【再生設定】

- 65 ノイズを軽減して再生する
[ノイズキャンセル]
- 67 小さい音を補正して再生する
[ボイスバランス]
- 69 ファイルを再生する範囲を指定する
[再生範囲]
- 71 繰り返し再生する [リピート]
- 73 スキップ間隔を設定する [スキップ間隔]
- 75 再生するフォルダを切り替える
[再生フォルダ]

78 表示/音メニュー【表示/音設定】

- 78 バックライトを設定する [バックライト]
- 79 コントラストを調整する [コントラスト]
- 80 LED 表示ランプを設定する [LED]
- 81 ビープ音を設定する [ビープ音]
- 82 表示言語を切り替える [言語選択 (Lang)]
- 83 スピーカ出力を選択する [スピーカ出力]
- 84 ファイルの先頭部分を数秒間再生する
[イントロ再生]

85 本体メニュー【本体設定】

- 85 自動的に電源が切れるようにする
[オートパワーオフ]

ページ タイトル

- 87 録音待機の時間を設定する [ソク録モード]
- 89 使用する電池を設定する [電池設定]
- 90 日付・時刻を合わせる [時計設定]
- 94 設定をリセットする [設定リセット]
- 95 初期化する [初期化]
- 97 内蔵メモリの情報を確認する [メモリ情報]
- 98 本機の情報を確認する [システム情報]

5 パソコンでの活用について

99 パソコンの動作環境

101 パソコンに接続する/取り外す

- 101 パソコンに接続する
- 103 パソコンから取り外す

104 ファイルをパソコンに取り込む

106 パソコンの外部メモリとして使う

107 パソコンから転送したファイルを聞く

- 107 転送したファイルを聞くには

6 資料

109 活用のヒント

111 警告表示一覧

113 故障かな?と思ったら

116 その他

- 116 お手入れ
- 116 アクセサリー (別売)

117 商標について

118 安全に正しくお使いいただくために

122 主な仕様

126 索引


準備

各部のなまえ

1

各部のなまえ

レコーダー

イヤホンジャック
()

REC スイッチ

ディスプレイ

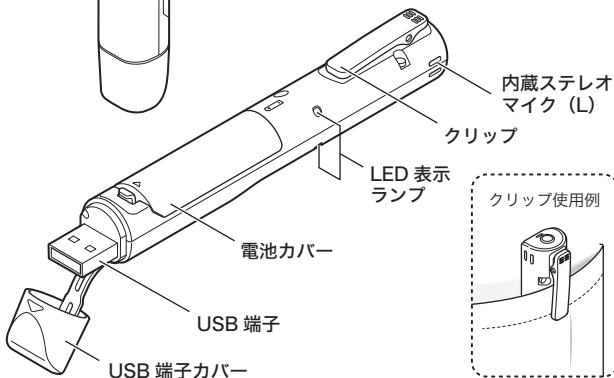
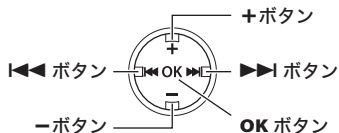
MENU/SCENE
ボタン

▶PLAY/■STOP
ボタン

内蔵スピーカ

内蔵ステレオマイク (R)

POWER/HOLD スイッチ



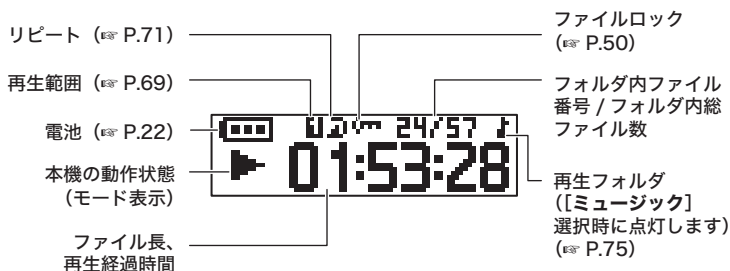
クリップ使用例

ディスプレイ










■ 録音時



■ 停止時、再生時



本機の動作状態 (モード表示) について

 録音 (P.25)	 再生 (P.30)	 早戻し (P.31)
 VCVA 録音 待機中 (P.64)	 一時停止 (P.30)	 早聞き再生 (P.34)
 停止	 早送り (P.31)	 遅聞き再生 (P.34)

ディスプレイ

1

■メニュー時のガイド表示について

各部のなまえ

◀◀ ボタンを押すと
1つ前の画面に戻り
ます。

現在選んでいる項目



OK ボタンを押します。

[OK▶]: 選択項目の詳細設定に進みます。

[OK]: 確定します。

+または-ボタンを押すと項目が切り替わります。

◀◀ ボタンを押すと
1つ前の画面に戻り
ます。

カーソル

+または-ボタンを押すと移動します。




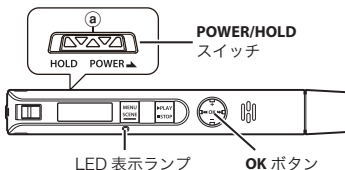
選択肢

充電する

パソコンの USB 端子に接続して充電する

ご確認

- 充電の際は付属の充電電池を入れ、**【電池設定】**の設定を**【ニッケル水素充電電池】**にしてください (P.4)。
- 充電する前に、**POWER/HOLD** スイッチが図の **Ⓐ** の位置になっていることを確認してください。
- 電池表示 (P.22) が **【】** に変わったら、電池残量が残ります。充電するか新しい電池に交換してください。

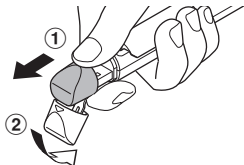


1

充電する

1 パソコンを起動する

2 本機の USB 端子カバーを外す



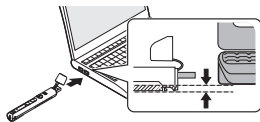
指の腹でスライドさせて開けます。

3 本機が停止していることを確認し、パソコンの USB ポートに接続する

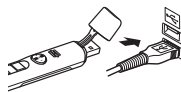


ご注意

- ご使用のパソコンが以下のような場合は、付属の USB 延長ケーブルを使用してください。
パソコンの底面よりも本機が低くなる場合



USB ポートの間隔が狭い場合



- 無理な接続はおやめください。データの転送が正しく行われない場合があるだけでなく、本体が破損するおそれがあります。

JP

19

パソコンの USB 端子に接続して充電する

1

充電する

4 OK ボタンを押して充電を開始する



- この表示が点滅中に **OK** ボタンを押してください。
- 充電中は LED 表示ランプが点灯します。

5 [充電完了] と表示されたら充電は終了です



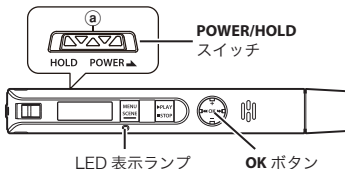
ヒント

- **POWER/HOLD** スイッチが **[HOLD]** の位置にあると、**OK** ボタンを押しても充電が開始されません。充電するときはホールドを解除してください (P.37)。

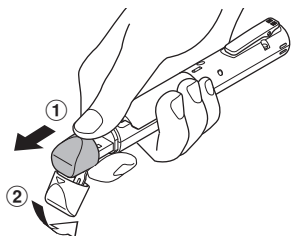
別売りの USB 接続 AC アダプタ (A514) に接続して充電する

ご確認

- 充電の際は付属の充電電池を入れ、[電池設定] の設定を [ニッケル水素充電電池] にしてください (P.4)。
- 充電する前に、POWER/HOLD スイッチが図の ① の位置になっていることを確認してください。
- 電池表示 (P.22) が [] に変わったら、電池残量が残りわずかです。充電するか新しい電池に交換してください。

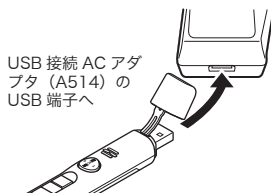


1 本機の USB 端子カバーを外す



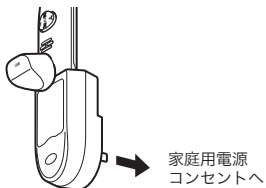
指の腹でスライドさせて開けます。

2 本機を AC アダプタの USB 端子に接続する



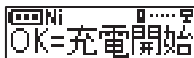
USB 接続 AC アダプタ (A514) の USB 端子へ

3 AC アダプタを家庭用電源コンセントに接続する



家庭用電源コンセントへ

4 OK ボタンを押して充電を開始する



- この表示が点滅中に **OK** ボタンを押してください。
- 充電中はLED表示ランプが点灯します。

5 [充電完了] と表示されたら充電は終了です

電池表示について

電池の残量に応じてディスプレイの電池表示が次のように変わります。



- [] が表示されたら、電池残量が残りわずかです。充電するか新しい電池に交換してください。電池残量がなくなると、[] と [電池残量少] が表示され、動作が停止します。

ヒント

- **POWER/HOLD** スイッチが [HOLD] の位置にあると、**OK** ボタンを押しても充電が開始されません。充電するときはホールドを解除してください (P.37)。
- 充電時間：約 3 時間 *
 - * 室温で電池残量がない状態から満充電する場合のめやすです。充電時間は電池の残量や充電の状態などにより変化します。

ご注意

- アルカリ乾電池やリチウム乾電池などの一次電池を充電しないでください。液漏れ、発熱など本機の故障の原因となります。
- パソコンの電源が入っているときにUSB接続して充電をしてください。パソコンの電源が入っていないときやパソコンがスタンバイ、休止、オートパワーオフモードの場合は充電できません。
- パソコンと接続して充電するときはUSBハブを使用しないでください。
- [] *1 または [] *2 が表示されている場合は充電できません。周囲の温度が 5 ~ 35°C の環境で充電してください。
 - *1 [] : 周囲の温度が低い場合
 - *2 [] : 周囲の温度が高い場合
- 電池を満充電しても寿命が著しく短くなってきたときは、新しい電池と交換してください。
- USB 端子は奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていないと正常に動作しません。
- 必要に応じ、付属のUSB延長ケーブルをご使用ください。
- USB 延長ケーブルは必ず専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用の場合、動作の保証はできません。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。
- オリンパス製 USB 接続 AC アダプタ (A514) 以外の AC アダプタを使用しないでください。

電池について

充電電池について

ニッケル水素充電電池（BR404）をご使用の際には以下をよくお読みください。

■ 放電：

充電電池は、使用しないと自然に放電します。ご使用前には、必ず充電するようにしてください。

■ 操作温度：

充電電池は化学製品です。推奨温度範囲で使用する場合にも充電電池の性能は変化しますが、故障ではありません。

■ 推奨温度範囲：

本機動作時：0～42℃


充電：5～35℃

長期保管：-20～30℃

上記の温度範囲外での充電電池の使用は、性能・寿命の低下の原因となります。長期間本機をご使用にならない場合は、液漏れ・さびを防ぐために充電電池を取り外して保管してください。

ご注意

- マンガン乾電池は本機で使用できません。
- 電池交換の際は、単4形アルカリ乾電池、またはオリンパス製ニッケル水素充電電池 BR404 をご使用ください。他社製品をご使用の場合、動作の保証はできません。
- 電池を交換したときは自動的に「電池設定」画面が表示されます。メニュー操作でも同様に電池の設定ができます（※ P.89）。電池を交換後は、必ず電源を入れて「電池設定」画面および「日時設定」画面の設定を済ませてから録音してください。

- 本機から電池を抜いた状態が1分以上続いたり、短い間隔で電池の出し入れを行うと、日時の設定が必要になる場合があります。詳しくは「**日付・時刻を合わせる【時計設定】**」（※ P.90）をご覧ください。
- ニッケル水素充電電池自体の性質上、新しく購入した電池や長期間（1カ月以上）使用していない電池は、充電が完全にされないことがあります。この場合は充電電を2、3回くり返してください。
- 充電電池は関係する法令に従って処分してください。充電電池を完全に放電しないで処分するときは、ショートしないように電池端子をテープで絶縁するなどの処置をしてください。
- 電池を交換する際は、本機の電源を切ってから電池を交換してください。本機が録音、消去などの動作中に電池を抜くと、ファイルが破損する場合があります。
- 電池表示が【】であっても内蔵スピーカで再生すると音量によっては電池の出力電圧が低下し、本機にリセットが発生する場合があります。この場合は、音量を下げてご使用ください。
- ご使用の電池の性能により電池持続時間は変化します（※ P.123）。
- 繰り返し使用したニッケル水素充電電池は劣化により電池持続時間が短くなります（※ P.123）。

電源を切る

電源を切る

1

電源を切っても既存のデータや各モードの設定、時計設定などは保持されます。

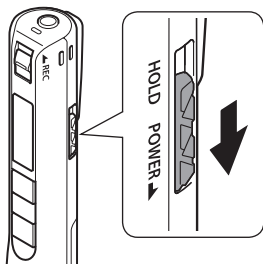
電源を切る

1 POWER/HOLD スイッチを矢印の方向へ 0.5 秒以上スライドさせる

- 電源を切る前の再生停止位置が記憶されています。

ヒント

- 使用していないときは、電源をこまめに切ると電池の消耗を最小限に抑えられます。



オートパワーオフについて

電源を入れて 5 分以上（初期設定）停止状態が続くと、ディスプレイ表示が消え、自動的に電源が切れます（☞ P.85）。

- 再び使用するときは、電源を入れてください（☞ P.6）。

ご注意

- 録音中は **POWER/HOLD** スイッチを操作しても電源が切れません。
- [ソク録モード] 機能が有効になっていると、電源が切れたあとも録音待機状態のままになり電池の消耗が早くなります。[ソク録モード] の設定時間が過ぎると完全に電源が切れた状態になります（☞ P.87）。

録音について

録音する

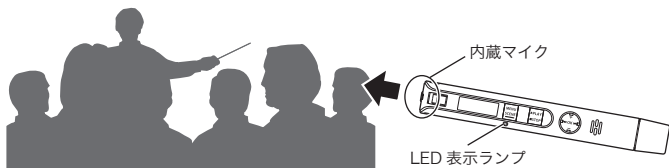
もし録音の機会が突然あっても、電源オフの状態から録音できます。最大で 999 件の録音が可能です。

基本的な録音のしかた

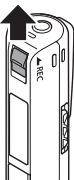
2

録音する

1 録音したい方向に内蔵マイクを向ける



2 REC スイッチを矢印の方向にスライドさせて録音を開始する



- LED 表示ランプが点灯し、ディスプレイに [●] が点灯します。



録音表示 (モード表示)

ヒント

- 電池を交換後は、必ず電源を入れて [電池設定] 画面および [日時設定] 画面の設定を済ませてから録音してください。
- 冒頭部分に簡単な録音内容を記録しておく、あとで [日付検索] 機能を使って検索するときに便利です (P.39)。

3 REC スイッチを矢印の方向にスライドさせて録音を停止する



- ディスプレイに [■] が点灯します。



JP

25

基本的な録音のしかた

本機で録音した音声には、自動的に以下のようなファイル名が付けられます。

VP100001 .MP3

① ②

① ファイル番号：

ファイル番号は連続して付けられます。

② 拡張子：

本機で録音した場合の録音モード（録音形式）の拡張子です。

- リニア PCM 形式：「**WAV**」
- MP3 形式：「**MP3**」
- WMA 形式：「**WMA**」

ヒント

- ポケットなどに入れて録音する場合は、本体が動かないようにクリップで固定してください。
- [ミュージック] フォルダ内のファイルを再生中に、録音をスタートしても、録音したファイルは [レコーダー] フォルダに保存されます (P.75)。

ご注意

- 録音の頭切れを防ぐために、LED 表示ランプの点灯やディスプレイのモード表示を確認してから録音を行ってください。

- 録音可能な残り時間が 60 秒になると LED 表示ランプが点滅を開始し、30 秒、10 秒と残量が減るにつれて点滅が早くなります。
- [ファイルフル] と表示された場合、これ以上録音できません。不要なファイルを消去してから録音をしてください (P.41、P.111)。
- [メモリフル] と表示された場合、容量がありません。不要なファイルを消去してから録音をしてください (P.41、P.111)。
- 内蔵メモリは書き込みや削除を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合は内蔵メモリを初期化してください (P.95)。
- 本機は内蔵マイクによる録音のみになります。外部マイクは接続できません。

2GB を超えるリニア PCM 形式の録音について

リニア PCM 形式の録音で、1 ファイルの容量が 2GB を超えた場合でも録音を継続します。

- ファイルは 2GB ごとに分割して保存されます。再生時には複数のファイルとして扱われます。
- 999 件目のファイルが 2GB を超えると、録音が停止します。

基本的な録音のしかた

録音に関する設定

録音状況に合わせてさまざまな設定ができます。

【録音レベル】 (<small>※</small> P.56)	録音感度を設定します。
【録音モード】 (<small>※</small> P.58)	録音時の音質を設定できません。
【擦れ音フィルタ】 (<small>※</small> P.60)	ポケットに入れたまま録音するときに、衣服などのこすれ音*を軽減します。
【ローカットフィルタ】 (<small>※</small> P.62)	エアコンの空調音やプロジェクターなどの動作音を低減できます。
【VCVA】 (<small>※</small> P.63)	音声起動録音 (VCVA) の起動レベルを設定できます。
【録音シーン】 (<small>※</small> P.28)	録音する場面や状況に合わせた録音設定に一括で切り替えます。

- ポケットなどに入れて録音する場合は、本体が動かないようにクリップで固定してください。

イヤホンを使う

市販のイヤホンの本機のイヤホンジャック (○) に差し込むと、録音中および再生中の音声を聞くことができます。

- 音量は+または-ボタンを使用して調節できます。
- イヤホンは付属していません。

1 本機のイヤホンジャック (○) にイヤホンを接続する



イヤホンジャックへ

- 録音中に音量を変えても録音レベルは変化しません。
- 再生時はイヤホンを接続するとスピーカーから音が出力されなくなります。





ご注意

- 耳への刺激を避けるため、音量を [00] にしてからイヤホンを入れてください。
- 録音中はハウリングをおこしますので、イヤホンをマイクに近づけないでください。
- イヤホンで聞く場合、音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こすおそれがあります。
- 録音中にイヤホンを使用すると電池の消耗が早くなります。電池の消耗を抑えるには、録音中はイヤホンを接続しないようにしてください。
- 録音中の音声をイヤホンで聞く場合、【擦れ音フィルタ】機能 (※ P.60) が有効になっていると、エコーがかかったように聞こえることがあります。

おまかせの録音設定を選ぶ [録音シーン]



録音シーンの選びかた

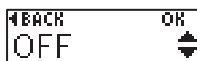
本機には会議や商談など録音する状況に合わせた最適な設定が、あらかじめ数種類登録されています。状況に応じたおすすめの設定に一括で切り替わります。


[ポケット]		ポケットに入れたまま、広範囲の音声を録音するときに適しています。
[メモ]		自分の声など、ごく近い音声の録音に適しています。
[会議]		広いスペースでの会議など、広範囲の音声を録音するときに適しています。
[商談]		小スペースでの打ち合わせなど、やや近い音声を録音するときに適しています。

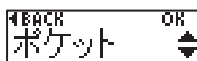
- 1  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押し続ける




- 2  **OK** ボタンを押す
・  ボタンを押すと1つ前の画面に戻ります。



- 3  + または - ボタンを押して各録音シーンを選ぶ



- 4  **OK** ボタンを押して設定を完了する



- 5  **▶PLAY/■STOP** ボタンを押してメニュー画面を終了する

・各録音シーンの設定内容については、「録音シーンに登録されている設定内容」(※ P.46)をご覧ください。

ご注意

- 録音シーン選択時は、録音に関するメニュー設定との併用ができません。これらの機能をご使用になる場合は [録音シーン] の設定が自動的に [OFF] になります。

録音時の画面表示を切り替える

録音中の画面表示を切り替えられます。

1 録音中に **OK** ボタンを押す



- **OK** ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

① 録音経過時間表示（初期設定）

録音経過時間とファイル番号が確認できません。



② 録音レベルメータ表示

録音音量や録音機能の設定に合わせて変化します。



③ 機能アイコン表示

現在使用している機能のアイコン、および録音可能残り時間が確認できます。



④ 日時表示

現在の日時が確認できます。



機能アイコンについて

Ni	使用中の電池の種類 (☞ P.89)	ローカットフィルタ	(☞ P.62)
録音可能残り時間		擦れ音フィルタ	(☞ P.60)
ノイズキャンセル	(☞ P.65)	録音モード	(☞ P.58)
ボイスランサー	(☞ P.67)	録音シーン	(☞ P.28)
録音レベル	(☞ P.56)	再生シーン	(☞ P.33)

ご注意

- 画面表示は動作（停止、再生、録音）を切り替えると初期設定に戻ります。

2

録音時の画面表示を切り替える

再生について


再生する

本機で録音したファイルのほか、パソコンから転送したリニア PCM (WAV)、MP3、WMA 形式のファイルが再生できます。パソコンから転送した音楽ファイルや語学学習ファイルを聞くには「**パソコンから転送したファイルを聞く**」をご覧ください (P.107)。

3

基本的な再生のしかた

再生する

- 1  ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して、再生するファイルを選ぶ



ファイル長

ヒント


- ファイル選択後、3 秒間ファイル長を表示します。
- 録音日時でファイルを探せます (P.39)。

- 2  ▶PLAY/■STOP ボタンを押して再生を開始する



再生表示 (モード表示)

- ディスプレイに [▶] が点灯します。

- 3  + または - ボタンを押して聞きやすい音量にする

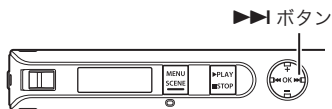


- ボリュームを規定以上にすると、警告画面が表示される場合があります。

- 4  ▶PLAY/■STOP ボタンを押して再生を停止する

- ディスプレイに [■] が点灯します。
- 再生しているファイルの途中で停止します。レジューム機能が働きの電源を切っても停止位置を記憶します。次に電源を入れたときに記憶した停止位置から再生できます。

早送りをするには

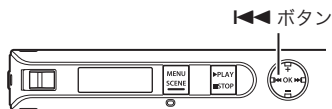


再生中の早送り

1 再生中に ▶▶ ボタンを押し続ける

- ▶▶ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します (P.35)。
- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに ▶▶ ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。

早戻しには



再生中の早戻し

1 再生中に ◀◀ ボタンを押し続ける

- ◀◀ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します (P.35)。
- ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに ◀◀ ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。

ファイルの頭出しをするには

次のファイルの頭出し

- 1 停止中または再生中に ►►► ボタンを押す

現在のファイルの頭出し

- 1 停止中または再生中に ◀◀◀ ボタンを押す

1つ前のファイルの頭出し

- 1 ファイルの先頭位置で ◀◀◀ ボタンを押す
 - 再生中に1つ前のファイルにスキップするときは、2回連続して ◀◀◀ ボタンを押してください。

ヒント

- 停止中に ◀◀◀ または ►►► ボタンを押し続けると、連続してファイルをスキップします。

ご注意

- 再生中のファイルを頭出しする場合、途中にインデックスマークやテンプレートマークがあると、その位置から再生を開始します。停止中はマークを飛ばして頭出しを行います (P.35)。

- [スキップ間隔] が [ファイル スキップ] 以外に設定されている場合、再生中は設定時間分だけスキップまたは逆スキップして再生を開始します。頭出しにはなりません (P.73)。

再生に関する設定



ファイルの再生方法は、目的やお好みに合わせてお選びください。



【ノイズキャンセル】* (P.65)	プロジェクターなどの動作音により音声聞き取りにくいときに設定してください。
【ボイスバランサー】* (P.67)	録音した音声ファイルの音量が小さい部分を補正して再生します。
【再生範囲】 (P.69)	1ファイルごとに再生する、またはフォルダ内の全ファイルの連続再生するかを選べます。
【リピート】 (P.71)	【再生範囲】 で選択した範囲を繰り返して再生できます。
【スキップ間隔】 (P.73)	再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返して再生するときに便利です。
【再生シーン】 (P.33)	用途に応じたおすすめの設定に一括で切り替えます。繰り返し再生の操作性が向上します。
【再生フォルダ】 (P.75)	【レコーダー】 フォルダや【ミュージック】 内の他のフォルダへ切り替えたいときに使用します。

- * 【レコーダー】 フォルダ内のファイルを選んでおける機能 (P.75)。

おまかせの再生動作を選ぶ【再生シーン】

進む・戻るを繰り返しても、誤ってファイルの先頭や末端になってしまうことがあります。早聞き・遅聞き機能も同時に使用できます。

[文字起こし] 	会議やインタビューなど、複数の音声が入力された音声ファイルの内容を文章化して議事録や書面に書き起こすときに便利です。
[語学学習] 	会話や語学学習ファイルの内容を何度も繰り返して再生するときに便利です。

-  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押し続ける 
-  + または - ボタンを押して [再生シーン] を選ぶ 
-  **OK** ボタンを押す
・  ボタンを押すと1つ前の画面に戻ります。 
-  + または - ボタンを押して各再生シーンを選ぶ 
-  **OK** ボタンを押して設定を完了する 
-  **▶PLAY/■STOP** ボタンを押してメニュー画面を終了する
・ 各再生シーンの設定内容については、「再生シーンの操作ボタン設定内容」(P.47)をご覧ください。

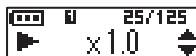
再生速度を変更する

再生速度を変更できます。再生速度は会議の内容を早聞きしたり、語学学習で聞き取れなかった箇所を遅聞きするときに便利です。

1



再生中に **▶PLAY/■STOP** ボタンを押し続ける

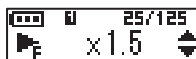


3

2



+または-ボタンを押して再生速度を選ぶ



- 再生速度の設定は× 0.5 倍速（遅聞き再生）～× 1.0 倍速（通常再生）～× 2.0 倍速（早聞き再生）まで選べます。

3



OK ボタンを押す

ヒント

- 通常の再生速度に戻すには、[x1.0] に設定してください。



再生速度表示
早聞き再生：
遅聞き再生：

ご注意

- 電源を切っても、変更した再生速度はそのまま保持されます。
- 再生速度を変更すると電池の消耗が早くなります。
- 再生速度変更時は以下の機能が使用できません。
 - [ノイズキャンセル] (P.65)


早聞き再生の制限事項について

再生ファイルのサンプリングレートやビットレートによっては、正常に動作しないことがあります。その場合は、再生速度を落として再生してください。

インデックスマーク・テンプマークについて

インデックスマークやテンプマークを付けると、早送り・早戻しやファイルの頭出し操作で、聞きたい位置をすばやく探せます。オリンパス製 IC レコーダーで作成されたファイルにはインデックスマークが付き、オリンパス製以外の機器で作成されたファイルにはテンプマークが付けられます。再生中のファイルに聞きたい位置の一時記憶ができます。


インデックスマーク・テンプマークを付ける

- 1  インデックスマーク・テンプマークを付ける位置で、**OK** ボタンを押し続ける




インデックスマーク・
テンプマーク番号


インデックスマーク・テンプマークを消去する

- 1  消去したいインデックスマーク・テンプマークのあるファイルを選び、再生を開始する



- 2  **▶▶** または **◀◀** ボタンを押して消去したいインデックスマーク・テンプマークを選ぶ



- 3  ディスプレイにインデックス・テンプ番号が表示されている間（約 2 秒間）に、**OK** ボタンを押し続ける



- ・消去したインデックスマーク・テンプマーク以降の番号は自動的に繰り上がります。

ご注意

- テンプマークは一時的なものです。他のファイルへ切り替えたり、ファイルをパソコンに転送したり、パソコンで移動すると自動的に消去されます。
- インデックスマーク・テンプマークは1つのファイル内に最大で99件まで付けることができます。99件を超えてインデックスマーク・テンプマークを付けようとするとき「**インデックスフル**」と表示されます。
- ファイルロックをかけてあるファイルは、インデックスマーク・テンプマークを付けたり消去することができません (P.50)。

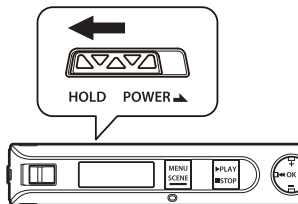
誤操作を防止する

ホールドにすると動作中の状態を保ち、ボタン操作を受け付けません。かばんやポケットに入れたときに誤ってボタンが押されても動作しないので持ち運びに便利です。

ホールドにする

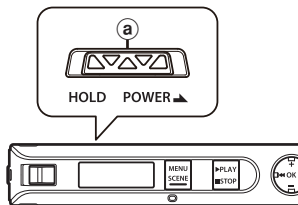
1 POWER/HOLD スイッチを [HOLD] の位置にスライドさせる

- ディスプレイに [ホールド] が表示され、ホールド状態になります。



ホールドを解除する

1 POWER/HOLD スイッチを ① の位置にスライドさせる



ご注意

- ホールドの状態ですぐのボタンを押すと、[ホールド] 表示が2秒間点灯しますが動作しません。
- 再生中にホールドにすると、再生状態のまま操作ができなくなります（再生が終了すると停止状態になります）。

停止時・再生時の画面表示を切り替える

停止中および再生中の画面表示を切り替えられます。

1 停止中または再生中に **OK** ボタンを押す

- **OK** ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

3

停止時・再生時の画面表示を切り替える

① 再生経過時間表示 (初期設定)

再生経過時間とファイル番号が確認できます。



② 録音日時表示 (レコーダーフォルダ選択時)

録音した日時を確認できます。



ファイル名表示 (ミュージックフォルダ選択時)

ファイル名が確認できます。



③ 機能アイコン表示

現在使用している機能のアイコン、および録音可能残り時間が確認できます (P.29)。



④ 日時表示

現在の日時が確認できます。



ご注意

- 画面表示は動作 (停止、再生、録音) を切り替えると初期設定に戻ります。

録音した日付でファイルを探す

録音した日付から音声ファイルを検索でき大変便利です。

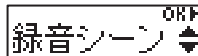
ご注意

- 検索できるファイルは [レコーダー] フォルダ内のファイルのみです。

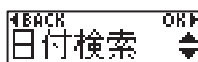
3

録音した日付でファイルを探す

- 1 停止時に **MENU/SCENE** ボタンを押し続ける



- 2 + または - ボタンを押して [日付検索] を選ぶ



- 3 **OK** ボタンを押す



- 4 + または - ボタンを押して録音した日を選ぶ



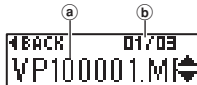
- 録音が行われた日付をすべて表示します。この中から探している日付を選びます。

- 5 **OK** ボタンを押す




6 + または - ボタンを押して録音したファイルを選ぶ

- a) ファイル名
- b) ファイル番号 / 選択した日付に登録されているファイル件数




ヒント

- ファイルを選択するたびに、ファイルの先頭部分を 10 秒間自動的に再生し、選んだファイルの内容が確認できます。
自動的に再生しないようにするには、[イン
ト口再生] の設定を [OFF] にしてください
( P.84)。

7 OK ボタンを押すと再生が始まります

ご注意

- 日付検索するには、あらかじめメニュー機能の [日時設定] の設定を済ませておく必要があります ( P.90)。

消去する

ファイルを消去する


フォルダ内のファイルを消去します。また、フォルダ内のすべてのファイルを消去できます。

ご注意

- 録音および再生を停止させてから行ってください。
- 消去したファイルは元に戻せません。消去の前には十分確認してください。

3

消去する


- 1  ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して消去したいファイルを選ぶ (P.30、P.107)



この番号のファイルが消去されます。消去後は番号が自動的に繰り上がります。

- 2  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す




- 3  **OK** ボタンを押す
- 操作中に3分間何も操作しないと停止状態に戻ります。



- 4  再度 **OK** ボタンを押す


ファイルを消去する

- 5  +または-ボタンを押して
[1ファイル消去] または
[フォルダ内消去] を選ぶ

[1ファイル消去]:
選択したファイルを消去します。

[フォルダ内消去]:
選択したファイルが保存されているフォルダ内
のファイルをすべて消去します。




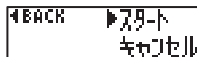


- 6  OK ボタンを押す

• 操作中に 8 秒間何も操作しないと 1 つ前の画面
に戻ります。

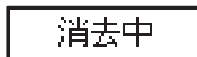


- 7  +ボタンを押して [スタート] を選ぶ



- 8  OK ボタンを押す

• ディスプレイが [消去中] に変わり、消去を開
始します。[消去完了] と表示されたら終了です。





ご注意

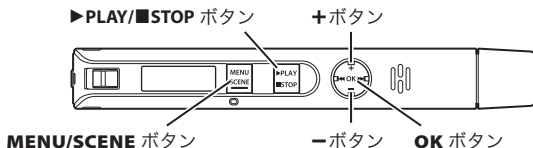
- ファイルロック設定のあるファイルや読み取り専用設定されているファイルは消去されません (P.50)。
- 本機で認識できないファイルは消去できません。パソコンに接続して消去してください。
- 処理中に電池が切れることのないように充電するか、新しい電池に交換してください。また、処理が完了するまで数十秒かかる場合があります。処理中は電池を取り外さないでください。

メニューについて

メニュー設定のしかた

基本的な操作のしかた

メニュー内は [ファイル編集]、[録音設定]、[再生設定]、[表示/音設定]、[本体設定] の5つの設定メニューに分けられています。



4

メニュー設定のしかた

1



録音中、再生中または停止中に
MENU/SCENE ボタンを押す



ヒント

- 録音中または再生中に設定できるメニュー項目については、メニューの一覧をご覧ください (P.49)。

2



+または-ボタンを押して設定したい項目が含まれている設定メニューを選ぶ



3



OK ボタンを押す

- 各種設定項目が表示されます。




ヒント


- ▶▶▶ ボタンを押しても操作できます。
- ◀◀◀ ボタンを押すと1つ前の画面に戻ります。

JP

43


基本的な操作のしかた


4  +または-ボタンを押して設定したい項目を選ぶ




5  **OK** ボタンを押す





6  +または-ボタンを押して設定を変更する



7  **OK** ボタンを押して設定を完了する

- 設定が確定されたことを画面でお知らせします。



8  **▶PLAY/■STOP** ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 録音中または再生中にメニュー画面に入った場合は、**MENU/SCENE** ボタンを押してメニュー画面を終了します。

ご注意

- 停止中からの設定では、3分間何も操作しないと停止状態に戻ります。この場合、設定途中の項目は変更されません。
- 録音または再生途中からの設定では、8秒間何も操作しないと録音または再生途中に戻ります。

メニューの一覧

■ ファイルに関するメニュー:

 選択肢欄の 表記は初期設定です

設定メニュー	設定項目	選択肢 / 内容
ファイル編集 [File Menu]	ファイル消去 [File Erase] ☞ P.41	ファイルを消去します。 [1 <input type="checkbox"/> ファイル消去] [<input type="checkbox"/> フォルダ内消去]
	ファイルロック [File Lock] ☞ P.50	ファイルの誤消去を防ぎます。 [ON] [<input type="checkbox"/> OFF]
	ファイル分割 [File Divide] ☞ P.52	本機で録音したファイル (PCM、MP3) を分割できます。
	プロパティ [Property] ☞ P.54	選んだファイルの情報を確認できます。 [名前] [日時] [サイズ] [ビットレート] [アーティスト] [アルバム]

■ 録音に関するメニュー：

 選択肢欄の  表記は初期設定です

設定メニュー	設定項目	選択肢 / 内容
録音設定 [Rec Menu]	録音レベル [Rec Level] ※ P.56	[高 (会議)] [低 (メモ)]
	録音モード [Rec Mode] ※ P.58	[PCM] [MP3 128k ST] [WMA 32k Mono] [WMA 5k Mono]
	擦れ音フィルタ [Anti-Rustle] ※ P.60	[HIGH] [LOW] [OFF]
	ローカットフィルタ [Low Cut Filter] ※ P.62	[ON] [OFF]
	VCVA [VCVA] ※ P.63	[ON] [OFF]
	録音シーン [Rec Scene] ※ P.28	[ポケット] [メモ] [会議] [商談] [OFF]

録音シーンに登録されている設定内容

	ポケット	メモ	会議	商談
[録音レベル]	[高 (会議)]	[低] *	[高 (会議)]	[高 (会議)]
[録音モード]	[MP3 128k ST]	[MP3 128k ST]	[MP3 128k ST]	[MP3 128k ST]
[ローカット フィルタ]	[OFF]	[ON]	[ON]	[OFF]
[擦れ音フィルタ]	[HIGH]	[OFF]	[OFF]	[LOW]

* 録音感度が [低 (メモ)] よりも低く設定されます。

■ 再生に関するメニュー：

! 選択肢欄の 表記は初期設定です

設定メニュー	設定項目	選択肢 / 内容
再生設定 [Play Menu]	ノイズキャンセル* [Noise Cancel] ※ P.65	[HIGH] [LOW] [OFF]
	ボイスバランサー* [Voice Balancer] ※ P.67	[ON] [OFF]
	再生範囲 [Playback Range] ※ P.69	[レコーダー] : [ファイル] [フォルダ] [ミュージック] : [ファイル] [フォルダ]
	リピート [Repeat] ※ P.71	[レコーダー] : [ON] [OFF] [ミュージック] : [ON] [OFF]
	スキップ間隔 [Skip Space] ※ P.73	[スキップ] : [ファイル スキップ] [30 秒 スキップ] [5 分 スキップ] [逆スキップ] : [ファイル スキップ] [3 秒 スキップ] [30 秒 スキップ] [5 分 スキップ]
	再生シーン [Play Scene] ※ P.33	[文字起こし] [語学学習] [OFF]
	再生フォルダ [Play Folder] ※ P.75	[レコーダー] [ミュージック]

* [レコーダー] フォルダ内のファイルを選んでいるときのみ機能します (※ P.75)。

再生シーンの操作ボタン設定内容

	[文字起こし]	[語学学習]
■STOP (停止)	オートバックスペース* (3 秒)	停止
▶▶ (早送り)	2.0 倍速再生	2.0 倍速再生
◀◀ (早戻し)	早戻し	早戻し
▶▶ (スキップ)	[10 秒スキップ]	[10 秒スキップ]
◀◀ (逆スキップ)	[3 秒スキップ]	[3 秒スキップ]
[ボイスバランサー]	[ON]	[OFF]

* 再生中に ▶PLAY/■STOP ボタンを押すと、押した位置から 3 秒戻って停止します。

■ ディスプレイや音に関するメニュー：

 選択肢欄の  表記は初期設定です

設定メニュー	設定項目	選択肢 / 内容
表示/音設定 [LCD/Sound]	バックライト [Backlight] ☞ P.78	[5 秒] [10 秒] [30 秒] [1 分] [OFF]
	コントラスト [Contrast] ☞ P.79	[01] ~ [06] ~ [12]
	LED [LED] ☞ P.80	[ON] [OFF]
	ビーブ音 [Beep] ☞ P.81	[ON] [OFF]
	言語選択 (Lang) [Language] ☞ P.82	[日本語] [English]
	スピーカ出力 [Speaker] ☞ P.83	[ON] [OFF]
	イントロ再生 [Intro Play] ☞ P.84	[ON] [OFF]

■ 本機に関するメニュー：

 選択肢欄の  表記は初期設定です

設定メニュー	設定項目	選択肢 / 内容
本体設定 [Device]	オートパワーオフ [Power Off] P.85	[5分] [10分] [15分] [30分] [OFF]
	ソク録モード [Rec Standby] P.87	[1時間] [3時間] [5時間] [10時間] [OFF]
	電池設定 [Battery] P.89	[ニッケル水素充電池] [アルカリ乾電池]
	時計設定 [Time & Date] P.90	[時] [分] [年] [月] [日]
	設定リセット [Reset Settings] P.94	メニュー設定（時計設定を除く）を 初期設定に戻します。
	初期化 [Format] P.95	メモリを初期化します。
	メモリ情報 [Memory Info.] P.97	メモリの残量と容量を表示します。
	システム情報 [System Info.] P.98	[モデル] [バージョン] [シリアル番号]

■ 録音動作中に設定できる項目：

バックライト

LED

■ 再生動作中に設定できる項目：

プロパティ


バックライト

LED

ファイルメニュー [ファイル編集]

ファイルの誤消去を防止する [ファイルロック]

ファイルにロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。ロックがかかっているファイルは、フォルダ内のファイルを全消去しても消去されません (※ P.41)。

- 1  ファイルロックをかけたいファイルを選ぶ (※ P.30、P.107)

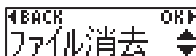



この番号のファイルにロックをかけます

- 2  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す




- 3  **OK** ボタンを押す



- 4  + または - ボタンを押して [ファイルロック] を選ぶ



- 5  **OK** ボタンを押す


- 6  + または - ボタンを押して [ON] または [OFF] を選ぶ



[ON] :
ファイルロックがかかります。

[OFF] :
ファイルロックが解除されます。

ファイルの誤消去を防止する [ファイルロック]

7  OK ボタンを押して設定を完了する

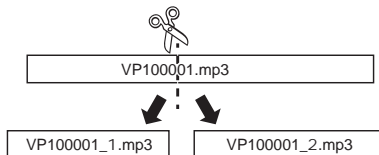
8  ▶PLAY/■STOP ボタンを押して
メニュー画面を終了する



ファイルロック

ファイルを分割する [ファイル分割]

容量の大きいファイルや録音時間の長いファイルを分割して管理・編集しやすくすることができます。



ご確認

ファイル分割できるファイルは本機で録音した PCM 形式、MP3 形式のみです。

1



ファイルを再生して分割したい位置で停止させる



- >>> または <<<< ボタンを押し続けると早送り・早戻しします。



- 分割位置はあらかじめインデックスマークを付けておくと便利です。



2



停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



3



OK ボタンを押す


4



+ または - ボタンを押して [ファイル分割] を選び、**OK** ボタンを押す



ファイルを分割する [ファイル分割]

- 5  + ボタンを押して [スタート] を選び、OK ボタンを押す

- ディスプレイが [分割中] に変わり、ファイル分割を開始します。
[分割完了] と表示されたら終了です。



- 6  ▶PLAY/■STOP ボタンを押してメニュー画面を終了する


- 分割後のファイル名は、前半部分のファイルが「ファイル名_1」、後半部分のファイルが「ファイル名_2」となります。

ご注意


- フォルダ内のファイル件数がすでに 999 件ある場合、分割できません。
- ファイルロック (P.50) がかかっているファイルは分割できません。
- リニア PCM (WAV) ファイルまたは MP3 ファイルでも収録時間の極端に短いファイルは分割できない場合があります。
- ファイルの分割中に電池を抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

ファイルの情報を見る [プロパティ]

メニュー画面からファイルの情報を確認できます。


- 1  情報を表示したいファイルを選ぶ
(P.30、P.107)

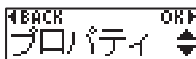



- 2  停止中または再生中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



- 3  **OK** ボタンを押す

- 4  +または-ボタンを押して [プロパティ] を選び、**OK** ボタンを押す

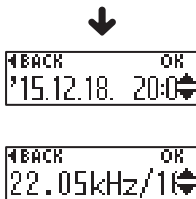


- 5  +または-ボタンを押して画面を切り替える




ヒント

- +または-ボタンを押すたびに [名前] [日時] [サイズ] [ビットレート] *1 [アーティスト] *2 [アルバム] *2 が表示されます。
 - *1 リニア PCM 形式のファイルを選んだ場合、[ビットレート] 部にサンプリングレートやビット数が表示されます。
 - *2 タグ情報がファイルにない場合、[UNKNOWN_ARTIST]、[UNKNOWN_ALBUM] と表示されます。



PCM 形式の場合

ファイルの情報を見る [プロパティ]

6  情報を確認したら **OK** ボタンを押す

7  **▶PLAY/■STOP** ボタンを押して
メニュー画面を終了する

録音メニュー [録音設定]

録音感度を選択する [録音レベル]

目的に合わせて内蔵マイクの録音感度を切り替えられます。

1



停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



4

2



+ または - ボタンを押して [録音設定] を選ぶ



3



OK ボタンを押す



4

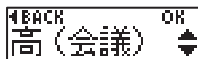


再度 **OK** ボタンを押す

5



+ または - ボタンを押して [高 (会議)] または [低 (メモ)] を選ぶ




[高 (会議)] :

録音感度が高く、講義や大人数の会議など、遠くの音や小さな音の録音に適しています。

[低 (メモ)] :

録音感度が低く、口述録音などマイク近くの音の録音に適しています。



録音感度を選択する [録音レベル]

6  OK ボタンを押して設定を完了する

7  ▶PLAY/■STOP ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 画面表示を切り替えると、設定アイコンが確認できません (※ P.29)。



録音レベル
高 (会議) : 
低 (メモ) : 

ヒント

- 話し手の声をはっきりと録音したい場合、[録音レベル] を [低 (メモ)] に設定し、本機の内蔵マイクを話し手の口に近づけて (5 ~ 10cm) 録音してください。


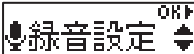
ご注意


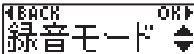
- 録音レベルは自動的に調整されますが、あまりにも大きな音を録音すると、ノイズが発生することがあります。


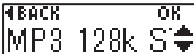
録音モードを設定する [録音モード]

高音質または録音可能時間を重視した録音モード（録音形式）が選べます。

1  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す 

2  +または-ボタンを押して [録音設定] を選び、**OK** ボタンを押す 

3  +または-ボタンを押して [録音モード] を選び、**OK** ボタンを押す 

4  +または-ボタンを押して録音モードを選ぶ 

[PCM]

[MP3 128k ST]

[WMA 32k Mono] *

[WMA 5k Mono] *




長時間録音

* モノラル録音になります。

ヒント

- PCM 形式は圧縮などの処理が行われなため原音のまま録音できますが、ファイルサイズが大きくなります。録音操作の前に、メモリ残量が充分にあるかご確認ください。
- 会議や講演会などをはっきりと録音したい場合、[録音モード] の設定を [MP3 128k ST] にして録音することをおすすめします。

録音モードを設定する [録音モード]

5  OK ボタンを押して設定を完了する

6  ▶PLAY/■STOP ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 画面表示を切り替えると、設定アイコンが確認できません (※ P.29)。


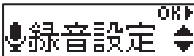


録音モード
PCM : PCM
MP3 : 128
WMA32 : 32
WMA5 : 5

摩擦による雑音を軽減して録音する [擦れ音フィルタ]

ポケットに入れながら録音するときに、衣服との摩擦によるこすれ音（ガサガサ音）を軽減します。

1  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す 


2  + または - ボタンを押して [録音設定] を選び、**OK** ボタンを押す 

3  + または - ボタンを押して [擦れ音フィルタ] を選び、**OK** ボタンを押す 

4  + または - ボタンを押して [HIGH] または [LOW] を選ぶ 

[HIGH] [LOW] :
こすれ音（ガサガサ音）による雑音を軽減して録音します。

[OFF] :
機能しません。

5  **OK** ボタンを押して設定を完了する

摩擦による雑音を軽減して録音する [擦れ音フィルタ]

6



▶PLAY/■STOP ボタンを押して
メニュー画面を終了する

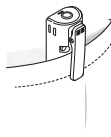


- 画面表示を切り替えると、設定アイコンが確認
できます (☞ P.29)。

擦れ音フィルタ

ご注意

- ポケットなどに入れたまま録音する場合は、本体が動かないよう
に本体のクリップを使って固定してください。



4


録音メニュー [録音設定]

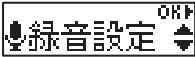
ノイズを軽減して録音する [ローカットフィルタ]


エアコンの空調音およびプロジェクターなどの作動音による雑音を軽減して録音できます。

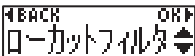
1  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す





2  +または-ボタンを押して [録音設定] を選び、**OK** ボタンを押す




3  +または-ボタンを押して [ローカットフィルタ] を選び、**OK** ボタンを押す





4  +または-ボタンを押して [ON] または [OFF] を選ぶ



- [ON] :
ローカットフィルタが機能します。
- [OFF] : 機能しません。

5  **OK** ボタンを押して設定を完了する

6  **▶PLAY/■STOP** ボタンを押してメニュー画面を終了する

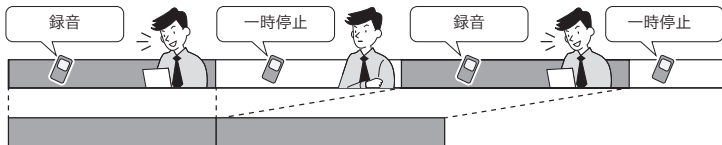





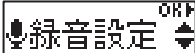




- 画面表示を切り替えると、設定アイコンが確認できます (※ P.29)。

ローカットフィルタ

音声起動録音機能を使う【VCVA】

音声起動録音（VCVA）とは、設定した音声起動レベルよりも大きな音声を検知すると自動的に録音が始まり、音声小さくなると自動的に録音を一時停止する機能です。会議中の長い沈黙などを自動的にカットして録音することによりメモリを節約できます。



- 1  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す 
- 2  + または - ボタンを押して **[録音設定]** を選び、**OK** ボタンを押す 
- 3  + または - ボタンを押して **[VCVA]** を選び、**OK** ボタンを押す 
- 4  + または - ボタンを押して **[ON]** または **[OFF]** を選ぶ 

[ON] :
VCVA が機能します。VCVA の音声起動レベルは調整できます (※ P.64)。

[OFF] :
機能しません。通常の録音に戻ります。

音声起動録音機能を使う [VCVA]

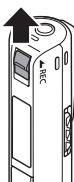
5  OK ボタンを押して設定を完了する6  ▶PLAY/■STOP ボタンを押してメニュー画面を終了する

VCVA 録音時


4

録音メニュー [録音設定]

音声起動レベルを調整して録音する

1  REC スイッチをスライドさせて、録音を開始する

- 設定した起動感度より音が小さくなると約 1 秒後に自動的に録音が一時的に停止します。
録音起動中は LED 表示ランプが点灯し、一時停止中は点滅します。

2  ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して音声起動レベルを調整する

- ① 音声起動レベル（設定レベルに応じて左右に動きます）
 - ② レベルメーター（録音音量に合わせて変化します）
- [23] 段階で調整できます。












ヒント

- ◀◀ ボタンを押すほど VCVA の起動感度は高くなり、小さな音でも録音を開始します。
- まわりの雑音が大いなど、録音状況に応じて VCVA の音声起動レベルを調整してください。
- 失敗のない録音を行うために、事前に試し録音で音声起動レベルを調整することをおすすめします。

再生メニュー [再生設定]

ノイズを軽減して再生する [ノイズキャンセル]

録音した音声聞き取りにくいときはノイズキャンセルを設定してください。

-  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す 
-  + または - ボタンを押して [再生設定] を選ぶ 
-  **OK** ボタンを押す 
-  再度 **OK** ボタンを押す
-  + または - ボタンを押して [HIGH]、[LOW] または [OFF] を選ぶ 

[HIGH] [LOW] :
周囲の雑音を低減し、よりクリアな音質で再生します。

[OFF] : 機能しません。
-  **OK** ボタンを押して設定を完了する

ノイズを軽減して再生する [ノイズキャンセル]

7



▶PLAY/■STOP ボタンを押して
メニュー画面を終了する

- 画面表示を切り替えると、設定アイコンが確認
できます (☞ P.38)。



ノイズキャンセル

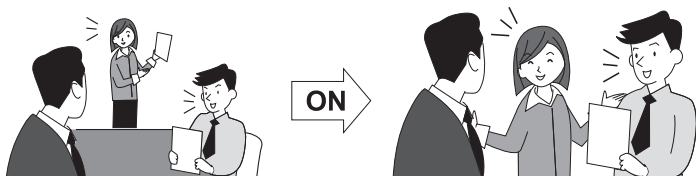
4

ご注意

- [ノイズキャンセル] は [レコーダー] フォルダ内のファイルを選択しているときのみ機能します (☞ P.75)。
- [ノイズキャンセル] 機能を使用すると電池の消耗が早くなります。
- [ノイズキャンセル] 機能を使うときは以下の機能は使用できません。
 - ・再生スピードの変更 (☞ P.34)






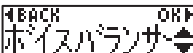


小さい音を補正して再生する [ボイスランサー]

録音した音声ファイルの音量が小さい部分を大きくなるように補正する機能です。会話などの小さい音を大きく明瞭にします。



4


再生メニュー [再生設定]

- 1  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す 
- 2  + または - ボタンを押して [再生設定] を選び、**OK** ボタンを押す 
- 3  + または - ボタンを押して [ボイスランサー] を選び、**OK** ボタンを押す 
- 4  + または - ボタンを押して [ON] または [OFF] を選ぶ 

[ON] :
音声ファイルの小さい部分を大きくなるように補正して再生します。

[OFF] :
機能しません。

小さい音を補正して再生する [ボイスバランサー]

5  OK ボタンを押して設定を完了する

6  ▶PLAY/■STOP ボタンを押して
メニュー画面を終了する



- 画面表示を切り替えると、設定アイコンが確認できます (☞ P.38)。




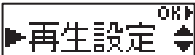





ボイスバランサー

ご注意


- [ボイスバランサー] は [レコーダー] フォルダ内のファイルを選択しているときのみ機能します (☞ P.75)。
- [ボイスバランサー] 機能を使用すると電池の消耗が早くなります。

ファイルを再生する範囲を指定する [再生範囲]

お好みに合わせてファイルを再生する範囲をお選びください。[レコーダー] および [ミュージック] の各フォルダごとに設定できます。

- 1  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す 
- 2  + または - ボタンを押して [再生設定] を選び、**OK** ボタンを押す 
- 3  + または - ボタンを押して [再生範囲] を選び、**OK** ボタンを押す 
- 4  + または - ボタンを押して [レコーダー] または [ミュージック] を選ぶ 
 - [レコーダー] :
内蔵マイクで録音したファイルを再生するときの再生範囲を設定します。
 - [ミュージック] :
パソコンから転送したファイルを再生するときの再生範囲を設定します。
- 5  **OK** ボタンを押す

ファイルを再生する範囲を指定する [再生範囲]

6  + または - ボタンを押して設定を選ぶ




[ファイル]:

現在のファイルを再生後に停止します。

[フォルダ]:



現在のフォルダ内の最終ファイルまで連続再生して停止します。

7  OK ボタンを押して設定を完了する

8  ►PLAY/■STOP ボタンを押してメニュー画面を終了する



画面表示を切り替えると、設定アイコンが確認できます (☞ P.38)。


再生範囲
ファイル: 
フォルダ: 


ご注意


- [再生範囲] を [ファイル] に設定するとフォルダ内の最終ファイルを再生後、ディスプレイに [ファイルエンド] が 2 秒間点滅し、最終ファイルの開始位置で停止します。
- [再生範囲] を [フォルダ] に設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに [ファイルエンド] が 2 秒間点滅し、フォルダ内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。

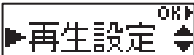
繰り返し再生する [リピート]


繰り返し再生のオンまたはオフが選べます。[レコーダー] および [ミュージック] の各フォルダごとに設定できます。

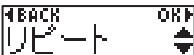
- 1**  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す





- 2**  + または - ボタンを押して [再生設定] を選び、**OK** ボタンを押す



- 3**  + または - ボタンを押して [リピート] を選び、**OK** ボタンを押す




- 4**  + または - ボタンを押して [レコーダー] または [ミュージック] を選ぶ



[レコーダー]：
内蔵マイクで録音したファイルの繰り返し再生を設定します。

[ミュージック]：
パソコンから転送したファイルの繰り返し再生を設定します。

- 5**  **OK** ボタンを押す

繰り返し再生する [リピート]



+または-ボタンを押して設定を選ぶ



[ON]:

[再生範囲] (P.69) で設定した範囲を繰り返し再生します。

[OFF]:

機能しません。



OK ボタンを押して設定を完了する



▶PLAY/■STOP ボタンを押してメニュー画面を終了する





- 画面表示を切り替えると、設定アイコンが確認できます (P.38)。



リピート


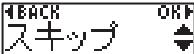
スキップ間隔を設定する [スキップ間隔]

再生中のファイルを設定した間隔だけスキップ（送る）または逆スキップ（戻る）して再生できる機能で、再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときなどに便利です。

1  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す 

2  + または - ボタンを押して [再生設定] を選び、**OK** ボタンを押す 


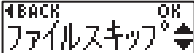
3  + または - ボタンを押して [スキップ間隔] を選び、**OK** ボタンを押す 

4  + または - ボタンを押して [スキップ] または [逆スキップ] を選ぶ 

[スキップ]：設定した間隔分だけ送って再生を開始します。

[逆スキップ]：設定した間隔分だけ戻って再生を開始します。

5  **OK** ボタンを押す

6  + または - ボタンを押して設定を選ぶ 


[スキップ] を選んだ場合：

[ファイルスキップ] [30秒スキップ] [5分スキップ]

[逆スキップ] を選んだ場合：

[ファイルスキップ] [3秒スキップ] [30秒スキップ] [5分スキップ]

スキップ間隔を設定する [スキップ間隔]

7  **OK** ボタンを押して設定を完了する

8  **▶PLAY/■STOP** ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- スキップ間隔より近い位置にインデックスマーク・テンプマーク、頭出し位置がある場合、その位置にスキップ・逆スキップします。

スキップ・逆スキップ再生のしかた

1  **▶PLAY/■STOP** ボタンを押して再生を開始する



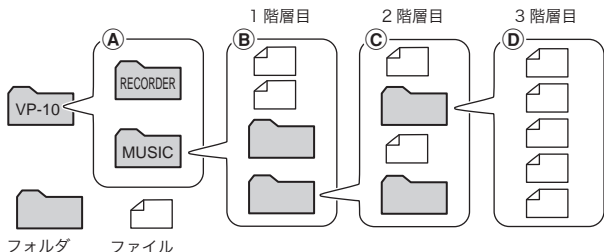
2  再生中に **▶▶** または **◀◀** ボタンを押す

- 設定した間隔でスキップまたは逆スキップして再生を開始します。

再生するフォルダを切り替える [再生フォルダ]

内蔵マイクで録音したファイルが保管されている [レコーダー] フォルダ、またはパソコンから転送された音楽ファイルや語学学習ファイルが保管されている [ミュージック] フォルダに切り替えられます。

本機では、ミュージックフォルダ内の2階層目までのフォルダ (図 ㉔) を認識します。



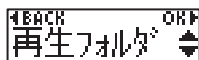
- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



- 2 + または - ボタンを押して [再生設定] を選び、**OK** ボタンを押す



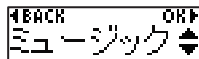
- 3 + または - ボタンを押して [再生フォルダ] を選び、**OK** ボタンを押す



再生するフォルダを切り替える [再生フォルダ]



＋または－ボタンを押して [レコーダー] または [ミュージック] を選ぶ (図 A)



[レコーダー] :

内蔵マイクで録音したファイルを再生する場合に選択します。

[ミュージック] :

パソコンから転送したファイルを再生する場合に選択します。

・ ◀◀ ボタンを押すと 1 つ前の画面に戻ります。

[レコーダー] を選んだ場合：手順 11 へ

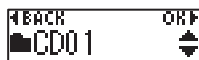
[ミュージック] を選んだ場合：手順 5 へ



OK ボタンを押す



＋または－ボタンを押してファイルまたはサブフォルダを選ぶ (図 B)



サブフォルダを選んだ場合

・ ◀◀ ボタンを押すと 1 つ前の画面に戻ります。

ファイルを選んだ場合：手順 11 へ


サブフォルダを選んだ場合：手順 7 へ




ファイルを選んだ場合


再生するフォルダを切り替える [再生フォルダ]

7  OK ボタンを押す

8  +または-ボタンを押してファイルまたはサブフォルダを選ぶ (図 ③)
ファイルを選んだ場合：手順 11 へ
サブフォルダを選んだ場合：手順 9 へ

9  OK ボタンを押す

10  +または-ボタンを押してファイルを選ぶ
・本機では3階層目 (図 ④) にあるフォルダは認識しません。

11  OK ボタンを押して設定を完了する

[ミュージック] 選択時に点灯します。



表示/音メニュー [表示/音設定]

バックライトを設定する [バックライト]

ボタンの操作を行うとディスプレイのバックライトが設定した時間だけ点灯します。

-  録音中、再生中または停止中に
MENU/SCENE ボタンを押す 
-  + または - ボタンを押して [表示/音設定] を選ぶ 
-  **OK** ボタンを押す 
-  再度 **OK** ボタンを押す
-  + または - ボタンを押して設定を選ぶ 

[5秒] [10秒] [30秒] [1分]:
バックライトの点灯時間を設定します。

[OFF]:
バックライトは点灯しません。
-  **OK** ボタンを押して設定を完了する
-  **▶PLAY/■STOP** ボタンを押して
メニュー画面を終了する

コントラストを調整する [コントラスト]

ディスプレイのコントラストを 12 段階に調整できます。

- 1**  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す


- 2**  + または - ボタンを押して [表示/音設定] を選び、**OK** ボタンを押す


- 3**  + または - ボタンを押して [コントラスト] を選び、**OK** ボタンを押す



- 4**  + または - ボタンを押してレベルを調整する





• [01] から [12] の間で調整を行います。
- 5**  **OK** ボタンを押して設定を完了する
- 6**  **▶PLAY/■STOP** ボタンを押してメニュー画面を終了する


LED 表示ランプを設定する [LED]


LED 表示ランプが点灯しないように設定できます。LED 表示ランプは録音時、充電時、パソコン間でのデータ転送時に点灯または点滅します。


1  録音中、再生中または停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す





2  + または - ボタンを押して [表示/音設定] を選び、**OK** ボタンを押す



3  + または - ボタンを押して [LED] を選び、**OK** ボタンを押す




4  + または - ボタンを押して設定を変更する



[ON] :
LED 表示ランプが点灯します。

[OFF] :
LED 表示ランプは点灯しません。

- [LED] の設定を [OFF] にしても、パソコン間でのデータ転送中は点滅します。

5  **OK** ボタンを押して設定を完了する

6  **▶PLAY/■STOP** ボタンを押してメニュー画面を終了する

ビープ音を設定する [ビープ音]

本機はボタン操作を知らせたり誤操作を警告したりするときにビープ音が鳴ります。ビープ音は鳴らす、鳴らさないを選べます。

- 1**  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す


- 2**  + または - ボタンを押して [表示/音設定] を選び、**OK** ボタンを押す


- 3**  + または - ボタンを押して [ビープ音] を選び、**OK** ボタンを押す


- 4**  + または - ボタンを押して設定を変更する



[ON] :
ビープ音が機能します。

[OFF] :
機能しません。
- 5**  **OK** ボタンを押して設定を完了する
- 6**  **▶PLAY/■STOP** ボタンを押してメニュー画面を終了する

表示言語を切り替える [言語選択 (Lang)]

本機は日本語表示と英語表示のどちらかを選べます。

- 1**  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す


- 2**  + または - ボタンを押して [表示/音設定] を選び、**OK** ボタンを押す


- 3**  + または - ボタンを押して [言語選択 (Lang)] を選び、**OK** ボタンを押す


- 4**  + または - ボタンを押して設定を変更する


- 5**  **OK** ボタンを押して設定を完了する
- 6**  **▶PLAY/■STOP** ボタンを押してメニュー画面を終了する

ヒント

- 表示言語を切り替えても、すでに入力してあるファイル名の言語は変わりません。

スピーカ出力を選択する [スピーカ出力]

イヤホンを接続していないときの内蔵スピーカのオン、オフを設定できます。
 [OFF] に設定すると誤ってイヤホンが本機から外れてもスピーカから音が出ません。バスや電車の中で安心です。

- 1**  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す


- 2**  + または - ボタンを押して [表示/音設定] を選び、**OK** ボタンを押す


- 3**  + または - ボタンを押して [スピーカ出力] を選び、**OK** ボタンを押す


- 4**  + または - ボタンを押して [ON] または [OFF] を選ぶ

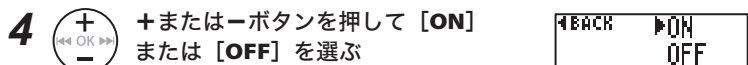
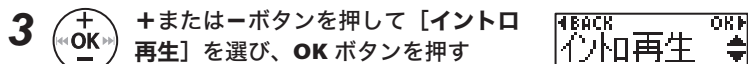
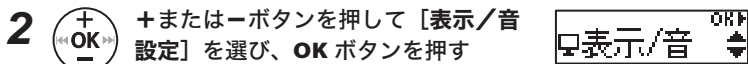


[ON] :
イヤホン接続中はイヤホンから音出力され、イヤホンを取り外すと内蔵スピーカから音出力されます。

[OFF] :
イヤホンを取り外しても内蔵スピーカからは音出力されません。
- 5**  **OK** ボタンを押して設定を完了する
- 6**  **▶PLAY/■STOP** ボタンを押してメニュー画面を終了する

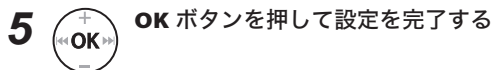
ファイルの先頭部分を数秒間再生する [イントロ再生]

[日付検索] 機能 (P.39) を使ってファイルを選択するたびに、ファイルの先頭部分を 10 秒間自動的に再生します。ファイルの内容を確認できるので、ファイルを検索するときに便利です。あらかじめ、先頭部分に録音する内容を記録しておく、あとで検索しやすくなります。



[ON] :
ファイルを選択するたびにそのファイルの先頭部分を 10 秒間再生します。




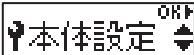

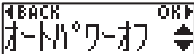


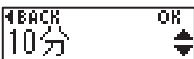
[OFF] :
機能しません。




本体メニュー [本体設定]

自動的に電源が切れるようにする [オートパワーオフ]

電源を入れて停止状態のまま設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。

-  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す 
-  + または - ボタンを押して [本体設定] を選ぶ 
-  **OK** ボタンを押す 
-  再度 **OK** ボタンを押す
-  + または - ボタンを押して時間を設定する 

[5分] [10分] [15分] [30分] :
お好みの時間を設定してください。

[OFF] :
機能しません。そのまま放置しておくと電池が早く消耗します。
-  **OK** ボタンを押して設定を完了する

自動的に電源が切れるようにする [オートパワーオフ]

7



▶**PLAY**/■**STOP** ボタンを押して
メニュー画面を終了する

ご注意

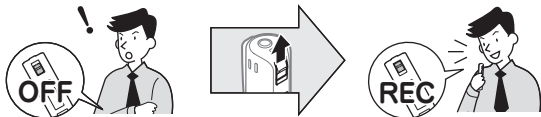
- ・ [ソク録モード] 機能が有効になっていると、電源が切れたあとも録音待機状態のままになり、電池の消費が早くなります。[ソク録モード] の設定時間が過ぎると完全に電源が切れた状態になります (※ P.87)。

4


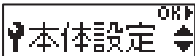
本体メニュー
[本体設定]



録音待機の時間を設定する [ソク録モード]



電源を切ったあとに録音待機する時間を設定します。電源を切った後でも設定時間内であれば、すぐに録音を開始できます。



1  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す 

2  + または - ボタンを押して [本体設定] を選び、**OK** ボタンを押す 

3  + または - ボタンを押して [ソク録モード] を選び、**OK** ボタンを押す 


4  + または - ボタンを押して時間を設定する 

[1 時間] [3 時間] [5 時間] [10 時間] :

お好みの時間を設定してください。

[OFF] :

録音待機しません。

5  **OK** ボタンを押して設定を完了する

録音待機の時間を設定する [ソク録モード]

6



▶PLAY/■STOP ボタンを押して
メニュー画面を終了する

ご注意

- ・ [ソク録モード] 機能が有効になっていると、電源が切れたあとも録音待機状態のままになり、電池の消耗が早くなります。[ソク録モード] の設定時間が過ぎると完全に電源が切れた状態になります。

4


本体メニュー
[本体設定]


使用する電池を設定する [電池設定]


現在使用している電池に合わせて設定してください。


1  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す




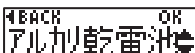
2  + または - ボタンを押して [本体設定] を選び、**OK** ボタンを押す



3  + または - ボタンを押して [電池設定] を選び、**OK** ボタンを押す



4  + または - ボタンを押して設定を変更する





[ニッケル水素充電電池] :


オリンパス製ニッケル水素充電電池 (BR404) をご使用の場合にお選びください。

[アルカリ乾電池] :

アルカリ乾電池をご使用の場合にお選びください。

5  **OK** ボタンを押して設定を完了する

6  ▶ **PLAY/STOP** ボタンを押してメニュー画面を終了する



• 画面表示を切り替えると、設定アイコンが確認できます (☞ P.38)。

使用中の電池の種類

ニッケル水素充電電池 : Ni

アルカリ乾電池 : AI


日付・時刻を合わせる [時計設定]


日付と時刻を設定しておくと、「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。あらかじめ日付・時刻を合わせてください。
現在日時が合っていない場合、以下の手順で設定してください。


- 1**  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



- 2**  + または - ボタンを押して [本体設定] を選び、**OK** ボタンを押す



- 3**  + または - ボタンを押して [時計設定] を選び、**OK** ボタンを押す


- 4**  + または - ボタンを押して数字を変更する



- 5**  **OK** ボタンを押す


- 6**  + または - ボタンを押して数字を変更する


- 7**  **OK** ボタンを押す




日付・時刻を合わせる [時計設定]

- 8  + または - ボタンを押して数字を変更する



- 9  OK ボタンを押す




- 10  + または - ボタンを押して数字を変更する



- 11  OK ボタンを押す




- 12  + または - ボタンを押して数字を変更する



ヒント

- 日付表示の並びや 24 時間表示に変更できます (P.92)。

- 13  OK ボタンを押して設定を完了する

- 14  ▶PLAY/■STOP ボタンを押してメニュー画面を終了する

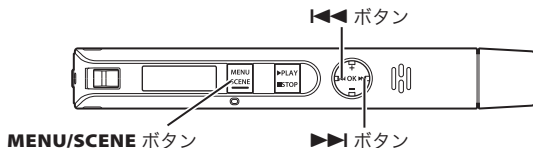
ご注意

- 長時間未使用でも電池が消耗すると、再び時計設定が必要になります。

日付・時刻を合わせる [時計設定]

日時設定の表示を切り替えるには

設定中に **MENU/SCENE** ボタンを押すと、日付の表示順を変更できます。



[年] の位置を変更するには

[年] の位置が [月 日] の前または後ろに切り替わります。

- ① 操作中に **◀◀** または **▶▶** ボタンを押して [年] 画面にする
 - ② **MENU/SCENE** ボタンを押す
- ・ [年] 画面で **MENU/SCENE** ボタンを押すと [年] の位置が入れ替わります。

[年] 画面



例：2015年3月24日の場合

2015年3月24日 (初期値) **→** 3月24日2015年

[月 日] の順番を変更するには

[月 日] または [日 月] に切り替えます。

- ① 操作中に **◀◀** または **▶▶** ボタンを押して [月 日] 画面にする
 - ② **MENU/SCENE** ボタンを押す
- ・ [月 日] または [日 月] 画面で **MENU/SCENE** ボタンを押すたびに [月 日] の順番が切り替わります。

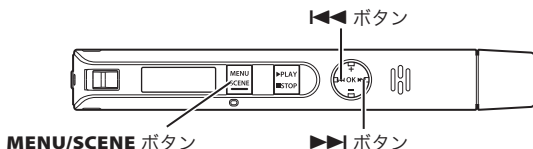
[月 日] 画面



例：3月24日の場合

3月24日 (初期値) **↔** 24日3月

日付・時刻を合わせる [時計設定]



AM/PM または 24 時間表示に変更するには

時間の表示方法を切り替えます。

- ① 操作中に ◀◀ または ▶▶ ボタンを押して [時 分] 画面にする
- ② **MENU/SCENE** ボタンを押す

[時 分] 画面



- ・ **MENU/SCENE** ボタンを押すたびに 12 時間表示と 24 時間表示が入れ替わります。12 時間表示で時刻を合わせる場合、午前と午後 の 12 時を間違えないようご注意ください。


例：午後 10 時 24 分の場合





PM 10 時 24 分 ↔ 22 時 24 分
(初期値)



設定をリセットする [設定リセット]

各種機能を初期設定（工場出荷時）に戻します。時計設定やファイル番号はそのまま保持します。

-  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

-  + または - ボタンを押して [本体設定] を選び、**OK** ボタンを押す


-  + または - ボタンを押して [設定リセット] を選び、**OK** ボタンを押す

-  + ボタンを押して [スタート] を選ぶ

-  **OK** ボタンを押して設定を完了する
-  ▶ **PLAY** / ■ **STOP** ボタンを押してメニュー画面を終了する



ヒント

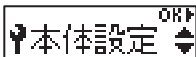

- 設定リセット後の初期値は、[メニューの一覧] をご覧ください（P.45～P.49）。



初期化する [初期化]




初期化すると記録されているファイルはすべて消去されます。大切なファイルはパソコンに転送してから初期化してください。



- 1  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



- 2  + または - ボタンを押して [本体設定] を選び、**OK** ボタンを押す


- 3  + または - ボタンを押して [初期化] を選び、**OK** ボタンを押す



- 4  + ボタンを押して [スタート] を選ぶ


- 5  **OK** ボタンを押す
- 6  + ボタンを押してもう一度 [スタート] を選ぶ


- 7  **OK** ボタンを押す

 - [初期化中] が表示され、初期化が開始されます。
 - [初期化完了] が表示されたら初期化終了です。

↓



初期化する [初期化]

ヒント

- 各種機能の設定を初期設定に戻す場合、**【設定リセット】**を行ってください (P.94)。

ご注意

- 本機をパソコンから初期化することは絶対にしないでください。
- 初期化をすると、ファイルロックをかけたファイルや読み取り専用ファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。
- 初期化中に電池が切れることのないように充電するか、または新しい電池に交換してください。また、初期化が完了するまで数十秒かかる場合があります。初期化中には電池を取り外すことは絶対にしないでください。データが破損するおそれがあります。
- 初期化や消去 (P.41) を行っても、ファイルの管理情報が更新されるだけで内蔵メモリに記録したデータは完全には消去されません。譲渡または廃棄の際には、初期化したあと、残り時間がなくなるまで無音録音するなどして、個人情報の流出を防いでください。

内蔵メモリの情報を確認する [メモリ情報]

メニュー画面から内蔵メモリの記録可能残量や容量を表示できます。

- 1**  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す


- 2**  + または - ボタンを押して [本体設定] を選び、**OK** ボタンを押す


- 3**  + または - ボタンを押して [メモリ情報] を選び、**OK** ボタンを押す


- 4**  + または - ボタンを押して画面を切り替える

 - 内蔵メモリの情報 ([残量] [容量]) を表示します。

- 5**  情報を確認したら、**OK** ボタンを押して [メモリ情報] 画面から出る
- 6**  **▶PLAY/■STOP** ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- メモリ容量の一部を管理領域として使用しているため、実際に使用できる容量は少なくなります。

本機の情報を確認する [システム情報]

メニュー画面から本機の情報を確認できます。

-  停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

-  + または - ボタンを押して [本体設定] を選び、**OK** ボタンを押す

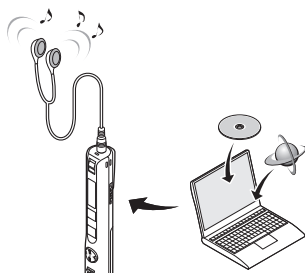
-  + または - ボタンを押して [システム情報] を選び、**OK** ボタンを押す

-  + または - ボタンを押して画面を切り替える
 - 本機のシステム情報（[モデル] [システムバージョン] [シリアルナンバー]）を表示します。
-  情報を確認したら、**OK** ボタンを押して [システム情報] 画面から出る
-  ▶**PLAY**/■**STOP** ボタンを押してメニュー画面を終了する

パソコンでの活用について

本機はパソコンと接続することで次のようなことができます。

- ・ パソコンに取り込んだ WMA・MP3・リニア PCM (WAV) 形式の語学学習ファイルや音楽ファイルを、本機でお楽しみいただけます (※ P.107)。
- ・ 本機はパソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご活用いただけます (※ P.106)。



イヤホンは付属していません。

パソコンの動作環境

本機で録音したファイルを USB 接続でパソコンに保存する際の動作環境です。

Windows

OS (オペレーティングシステム) :

Microsoft® Windows Vista® / Microsoft® Windows® 7 /
Microsoft® Windows® 8 - 8.1
標準インストール (日本語版)

対応パソコン:

1 つ以上空きのある USB ポートを装備した Windows パソコン

- ・ 動作環境を満たしていても、アップグレードしたもの、マルチブート環境、自作パソコンとその互換機については動作保証外とさせていただきます。

Macintosh

OS (オペレーティングシステム) :

MacOS-X 10.5 -10.9 標準インストール (日本語版)

対応パソコン:

1 つ以上空きのある USB ポートを装備した Apple Macintosh シリーズ

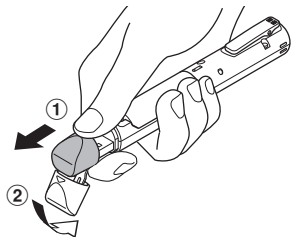
本機をパソコンに接続して扱う場合の注意事項

- 本機からファイルをダウンロードしたり本機にファイルをアップロードする場合、パソコンから通信中の画面が消えても、本機の LED 表示ランプが点滅中はデータを転送中です。決して USB 接続を外さないでください。また、USB 接続を外す場合、必ず P.103 に記載の方法で行ってください。ドライブを停止してから外しないと、正常にデータが転送されないことがあります。
- パソコンでは本機ドライブを初期化（フォーマット）しないでください。パソコンで初期化した場合、正しく初期化されません。初期化は、本機の [初期化] メニューから行ってください (P.95)。
- Windows または Macintosh のファイル管理画面から、本機に保存されているフォルダやファイルに対して移動や名前の変更などの操作を行うと、ファイルの順番が変わったり、ファイルを認識できなくなることがあります。
- パソコン上の操作で本機ドライブの属性をリードオンリー（読み取り専用）に設定しても、本機ではデータの読み書きができますのでご注意ください。
- ノイズにより周辺電子機器に影響を及ぼすことがありますので、パソコンに接続する場合、イヤホンを取り外してください。

パソコンに接続する/取り外す

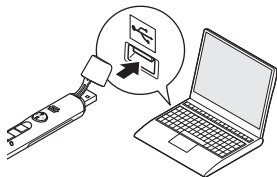
パソコンに接続する

- 1 パソコンを起動する
- 2 本機の USB 端子カバーを外す



指の腹でスライドさせて開けます。

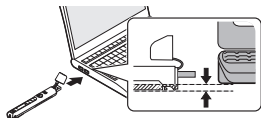
- 3 本機が停止していることを確認し、パソコンの USB ポートに接続する



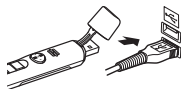
ご注意

- ご使用のパソコンが以下のような場合は、付属の USB 延長ケーブルを使用してください。

パソコンの底面よりも本機が低くなる場合



USB ポートの間隔が狭い場合



- 無理な接続はおやめください。データの転送が正しく行われずおそれだけでなく、本体が破損するおそれがあります。

ヒント

- ニッケル水素充電電池をご使用の場合：充電する場合は、OK ボタンを押してください。充電しない場合は、OK 以外のボタンを押してください。

- 充電しながらファイルの転送ができます。
- USB 接続中は、本機のディスプレイに [PC 接続中] と表示されます。

パソコンに接続する

ヒント

- Windows の場合、[**マイコンピュータ**]を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。
- Macintosh の場合、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。
- パソコンの USB ポートについては、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 必要に応じ、付属の USB 延長ケーブルをご使用ください。

ご注意

- 本機のホールドは解除してください。
- USB 端子は奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
- USB ハブを経由して本機を接続すると、動作が不安定になることがあります。この場合、USB ハブを使用しないでください。
- USB 延長ケーブルは必ず専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用の場合、動作の保証はできません。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。

パソコンから取り外す

Windows

- 1 画面右下のタスクバーの  をクリックして、[DIGITAL VOICE RECORDER の取り出し] をクリックする



- ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります。
- ハードウェアの取り外しウィンドウが表示されたら、ウィンドウを閉じてください。

- 2 本機の LED 表示ランプが点滅していないことを確認し、本機をパソコンから取り外す

ヒント

- もし充電が途中で、本機を取り外して使用できます。

ご注意

- LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

Macintosh

- 1 デスクトップに表示されている本機のリムーバブルアイコンを、ドラッグ&ドロップでゴミ箱に移動する



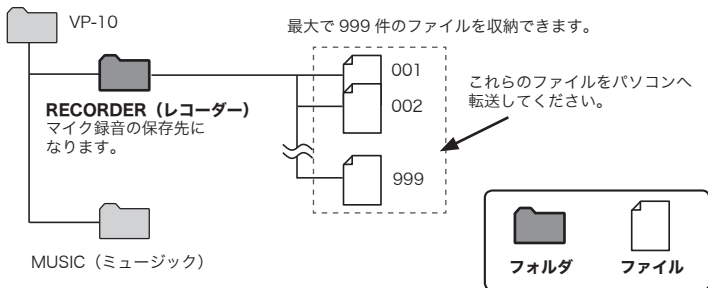
- 2 本機の LED 表示ランプが点滅していないことを確認し、本機をパソコンから取り外す

ファイルをパソコンに取り込む

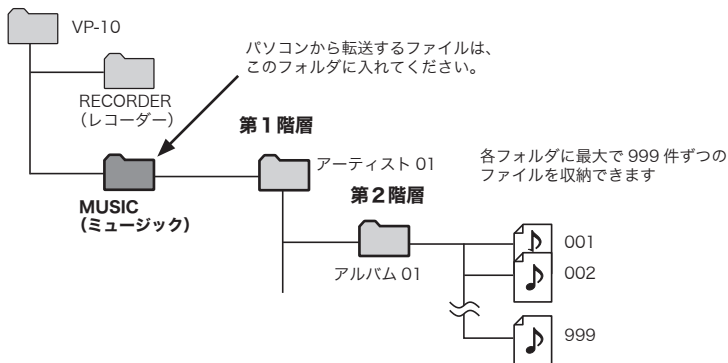
内蔵マイクで録音したファイルは、パソコン上では**「RECORDER」**という名前のフォルダの中に保存されています。パソコン内のお好きなフォルダにコピーしてください。

■ パソコンを接続した場合のドライブ名とフォルダ名

内蔵マイクで録音したファイルをパソコンに転送する



音楽ファイルや語学学習ファイルを転送する



5

ファイルをパソコンに取り込む

JP

ファイルをパソコンに取り込む

ヒント

- [ミュージック] フォルダには、[ミュージック] を含めて最大 130 フォルダまで作成できます。
- 本機では、3 階層目のフォルダは認識できません。

ご注意

- LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。
- Mac OS の標準環境では、WMA 形式のファイルは再生できません。

パソコンの外部メモリとして使う

本機とパソコンを接続すれば、本機のデータをパソコンへ転送したり、パソコンに保存されたデータを本機に保存できます。

Windows

- 1 本機をパソコンに接続する
(P.101)
- 2 エクスプローラを起動する
・ [マイコンピュータ] を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。
- 3 製品名のフォルダをクリックする
- 4 データをコピーする
- 5 本機をパソコンから取り外す
(P.103)

Macintosh

- 1 本機をパソコンに接続する
(P.101)
・ Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。
- 2 デスクトップの製品名のリムーバブルアイコンをダブルクリックする
- 3 データをコピーする
- 4 本機をパソコンから取り外す
(P.103)

5

パソコンの外部メモリとして使う

ご注意

- ・ データ通信中は LED 表示ランプが点滅します。LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

パソコンから転送したファイルを聞く

転送したファイルを聞くには

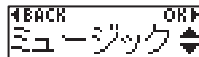
パソコンから転送された音楽ファイルや語学学習ファイルなどをお楽しみいただけます。

ご注意

- あらかじめ本機をパソコンに接続して、本機の [ミュージック] フォルダに音楽ファイルおよび語学学習ファイルを転送してください (P.104)。
- 本機は [ミュージック] フォルダ内の 3 階層目にあるフォルダは認識できません。

1 再生するファイルを選ぶ

- メニュー機能の [再生フォルダ] 機能を使って [ミュージック] フォルダに切り替えたあと、ファイルを選択します (P.75)。



2 ▶PLAY/■STOP ボタンを押して再生を開始する



3 + または - ボタンを押して聞きやすい音量にする



4 ▶PLAY/■STOP ボタンを押して再生を停止する



5

パソコンから転送したファイルを聞く

転送したファイルを聞くには

再生可能なファイルについて

本機で再生できるファイルのサンプリングレートやビット数、ビットレートの組み合わせは以下のとおりです。

ファイル形式	サンプリングレート	ビット数および ビットレート
リニア PCM (WAV) 形式	22.05 kHz、44.1 kHz	16 bit
MP3 形式	MPEG1 Layer3 : 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz MPEG2 Layer3 : 16 kHz、22.05 kHz、24 kHz	8 kbps から 320 kbps まで
WMA 形式	8 kHz、11 kHz、16 kHz、 22 kHz、32 kHz、44.1 kHz、 48 kHz	5 kbps から 320 kbps まで

- 可変ビットレート（1つのファイル内でビットレートを可変させて変換）のMP3ファイルの再生については、正常に動作しない場合があります。
- WAV ファイルはリニア PCM 形式のみ、本機で再生できます。その他の WAV ファイルは再生できません。
- 本機で再生可能なファイル形式であっても、すべてのエンコーダに対応しているわけではありません。

活用のヒント

本機を上手にお使いいただくために、便利な使いかたをご紹介します。

失敗のない録音をするために試し録りをしてください。

試し録りについて

録音の対象となる人との距離および声量、空間の広さ、空調機の付近での使用など…。「音の品質」は録音環境によって変わります。事前に雑音（ノイズ）を減らして希望通りの音で録音できるかを確認するため、試し録りはとても有効です。

エアコン、プロジェクター、パソコンなどの動作音、机上のモノを動かしたときの音および振動、机の脚から伝わる足音などの雑音（ノイズ）は、聞こえる音よりも大きく録音されてしまうことがあります。

録音されるノイズを軽減するには

- 録音中に本体に触れると、タッチノイズとして録音されてしまう場合があります。録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。
- 空調の通風口やパソコンなど、ノイズの原因となっている対象から遠ざけてください。
- ノイズが気になる場合は、**【録音モード】**の設定を**【MP3 128k ST】**に設定することをおすすめします（※ P.58）。
- 状況に応じた**【録音レベル】**を選んでください。周囲の音がノイズとなって聞きづらい場合は、**【低（メモ）】**でお試してください（※ P.56）。
- 状況に合わせた**【録音シーン】**を選べると、録音モードや内蔵マイクの感度など、録音に必要な項目を一括でおすすめの設定に切り換えることができます（※ P.28）。



■ 電池を長持ちさせたい

- ☞ [バックライト] 機能の点灯時間を短くしてください (☞ P.78)。
- ☞ [オートパワーオフ] 機能の設定時間を短くしてください (☞ P.85)。
- ☞ [ソク録モード] 機能を [OFF] にしてください (☞ P.87)。
- ☞ 使用しないときはこまめに電源を切ってください (☞ P.24)。
- ☞ 再生時は内蔵スピーカでなく市販のイヤホンをお使いください (☞ P.27)。
- ☞ 以下の機能を使用すると電池の持続時間に影響をおよぼします。
 - ・ [ノイズキャンセル] (☞ P.65)
 - ・ 録音中の音声を聞く (☞ P.27)
 - ・ 再生速度の変更 (☞ P.34)
 - ・ [再生シーン] (☞ P.33)
 - ・ [ボイスバランサー] (☞ P.67)

■ メモリを節約したい

- ☞ [VCVA] 機能をお使いください (☞ P.63)。
録音中に一定の音量以下になると録音一時停止します。音量が一定以上になると自動的に録音を再開します。

■ 「録音した内容が早い口調で聞き取れない」

「録音した内容を全部聞きたいが、時間を節約したい」

- ☞ 再生スピード機能をお使いください (☞ P.34)。
再生速度を通常の半分のスピードまで遅くしたり、2倍のスピードまで早くして聞けます。

■ 「大事な所 (位置) をあとでもう一度聞きたい」

- ☞ インデックス (テンプ) マーク機能をお使いください (☞ P.35)。
録音中、再生中、停止中にインデックス (テンプ) マークを付けておくと、あらためて再生したときに早送りや早戻し、頭出し機能を使ってインデックス (テンプ) マークを付けた場所をすぐに探し出せます。

■ 「この部分より前または後ろは必要無いから消したい」

- ☞ [ファイル分割] 機能および [ファイル消去] 機能をお使いください (☞ P.52、P.41)。
停止している位置でファイルを分割します。あとは不要な方のファイルを削除します。

■ 「録音したファイルに雑音があり聞きにくい」

- ☞ [ノイズキャンセル] 機能をお使いください (☞ P.65)。
雑音を抑え聞きやすくなる場合があります。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
電池残量少 (Battery Low)	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください (☞ P.4、P.19)。
ファイルロック (File Locked)	ファイルロックがかかっている	ファイルロックを解除してください (☞ P.50)。
インデックス フル (Index Full)	ファイル内でインデックスマークを最大数 (99) まで使用している。	必要のないインデックスマークを消去してください (☞ P.35)。
テンプマーク フル (Temp Full)	ファイル内でテンプマークを最大数 (99) まで使用している。	必要のないテンプマークを消去してください (☞ P.35)。
ファイル フル (Folder Full)	フォルダ内のファイル件数が最大数 (999) になっている。	必要のないファイルを消去してください (☞ P.41)。
メモリ異常 (Mem. Error)	内蔵メモリに異常がある。	当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください (☞ 裏表紙)。
メモリ フル (Memory Full)	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください (☞ P.41)。
No file (No File)	フォルダ内にファイルがない。	録音するか、他のフォルダに選び直してください (☞ P.25、P.75)。
	ファイルが選択されていない。	ファイルを選んでから操作してください (☞ P.30、P.107)。
初期化失敗 (Format Err)	初期化に問題があった。	メモリをもう一度初期化し直してください (☞ P.95)。
管理ファイルエラー (Sysfile Err)	メモリ残量がないため、管理用のファイルが作成できない。	パソコンに接続し、不要なファイルを消去してください。
再生エラー (Cannot Play)	未対応フォーマットです。	本機で再生可能なファイルを選び直してください (☞ P.108)。
ファイルエラー (File Error)	本機で録音した MP3 形式、リニア PCM (WAV) 形式以外のファイルを分割しようとしている。	ファイルを選び直してください。

表示	詳細	解決方法
位置エラー (Pos Error)	分割できない位置で分割しようとしている。	分割後、極端に短いファイルになる場合は分割できないことがあります (※ P.52)。
ノイズキャンセルオフ (Noise Off)	[ノイズキャンセル] の設定が有効になっている。	[ノイズキャンセル] の設定が自動的に [OFF] になります (※ P.65)。
シーン解除 (Scene Off)	[録音シーン] または [再生シーン] の設定が有効になっている。	[録音シーン] または [再生シーン] の設定が自動的に [OFF] になります (※ P.28、P.33)。
x 1.0 Play (x 1.0 Play)	再生スピードの設定が [x1.0] 以外に変更されている。	再生スピードの設定が自動的に [x1.0] になります (※ P.34)。
電源異常 (Power Error)	バスパワーに異常がある。	USB 接続を解除してください。
充電不可 (🔋❌) (can't charge)	単4形アルカリ乾電池または指定外の充電式電池を充電しようとしている。	オリンパス製ニッケル水素充電電池 (BR404) をご使用ください。
充電不可_2 (🔋❌) (can't charge_2)	バスパワーに異常がある。	USB 接続を解除してください。

故障かな?と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
ディスプレイに何も表示されない	電池が正しく入っていない。	電池の⊕と⊖を確かめてください (☞ P.4)。
	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください (☞ P.4、P.19)。
	電源が切れている。	電源を入れてください (☞ P.6)。
操作できない	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください (☞ P.4、P.19)。
	電源が切れている。	電源を入れてください (☞ P.6)。
	ホールドがかかっている。	ホールドを解除してください (☞ P.37)。
録音できない	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください (☞ P.41)。
	ファイル件数が最大記録件数になっている。	必要のないファイルを消去してください (☞ P.41)。
再生音が聞こえない	イヤホンジャックにイヤホンを接続している。	内蔵スピーカから出力する場合、イヤホンを取り外してください。
	[スピーカ出力] の設定が [OFF] になっている。	内蔵スピーカから出力する場合、[スピーカ出力] の設定を [ON] にしてください (☞ P.83)。
	音量が [00] になっている。	ボリュームを調節してください (☞ P.30)。
録音のレベルが小さい	[録音レベル] の設定が [低 (メモ)] になっている。	録音レベルの設定を [高 (会議)] にしてもう一度録音してください (☞ P.56)。
	録音対象との距離が離れている。	録音対象に近づけてください。
音声ファイルの音が歪む	録音レベルは自動的に調整されますが、あまりにも大きな音を録音すると、ノイズが発生することがあります。	録音対象との距離を離して録音してください。
音声ファイルがステレオ録音されていない	[録音モード] の設定が WMA 形式である。	[録音モード] の設定を [PCM] または [MP3 128k ST] にしてください (☞ P.58)。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
再生時に雑音が入る	録音時に本機をこすったりした。	_____
	録音時、再生時に本機を携帯電話や蛍光灯近くに置いている。	操作時に本機の位置を変えてください。
ファイルが消去できない	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください (P.50)。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
録音モニターでノイズが聞こえる	ハウリングをおこしています。	アンプ内蔵スピーカなどを接続している場合、録音中にハウリングをおこすおそれがあります。録音モニターはイヤホンのご使用をおすすめします (P.27)。
		イヤホンとマイクの距離を離す、マイクをイヤホンの方へ向けないなど調整をしてください。
インデックスマーク・テンプレマークが付けられない	マーク件数が最大 (99 件) になっている。	必要のないマークは消去してください (P.35)。
	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください (P.50)。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
充電ができない	[電池設定] の設定が [アルカリ乾電池] になっている。	付属の充電電池をご使用の上、電池設定を [ニッケル水素充電電池] にしてください。また、充電電池の推奨温度範囲外でのご使用はおやめください (P.7、P.23、P.89)。
	OK ボタンを押していない。	USB 接続したときに表示される確認画面に従い、OK ボタンを押してください。
	ホールドがかかっている。	ホールドを解除してください (P.37)。
ボタン動作がおかしい	[再生シーン] の設定が有効になっている。	[再生シーン] の設定を [OFF] にしてください (P.33)。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
再生スピードが速い (遅い)	再生スピード機能に変更されている	再生スピードの設定を [x1.0] にする (※ P.34)
各ファイルを続けて再生できない	[再生範囲] の設定が [ファイル] になっている。	[再生範囲] の設定を [フォルダ] にする (※ P.69)。
	[リピート] の設定が [ON] になっている。	[リピート] の設定を [OFF] にする (※ P.71)。
再生中に次または一つ前のファイルへ頭出しできない	[再生範囲] の設定が [ファイル] になっている。	[再生範囲] の設定 [フォルダ] にする (※ P.69)。
	[リピート] の設定が [ON] になっている。	[リピート] の設定を [OFF] にする (※ P.71)。
	[スキップ間隔] の設定が [ファイルスキップ] 以外になっている。	[スキップ間隔] の設定を [ファイルスキップ] にする (※ P.73)。
[日付検索] のときにファイルを切り替えると自動的に再生が始まる	[イントロ再生] の設定が [ON] になっている。	[イントロ再生] の設定を [OFF] にする (※ P.84)。

その他

お手入れ

● 本機のお手入れ

柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、固く絞ってから、汚れを拭き取り、そのあと、乾いた布でよく拭いてください。

● ディスプレイ

柔らかい布でやさしく拭きます。

ご注意

- ベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾は使わないでください。

アクセサリー (別売)

OLYMPUS 製 IC レコーダー専用のアクセサリーは、当社 Web サイトの「オンラインショップ」で直接ご購入いただけます。

単 4 形ニッケル水素充電電池： BR404

持続性に優れた高性能充電電池です。

USB 接続 AC アダプタ：A514

USB 接続型 DC5V の AC アダプタです。(AC100-240V 50/60Hz)

商標について

- 本書の内容は将来予告なしに変更する場合があります。商品名、型番など、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 取扱説明書で使用しているディスプレイや本機のイラストは実際の製品とは異なる場合があります。また、本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の著作権はオリンパス株式会社が所有しております。本書を無断で複製したり、複製物を無断で配布したりすることは著作権法により禁じられています。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

商標および登録商標について

- ボイストレック (Voice-Trek) はオリンパス株式会社の登録商標です。
- IBM、PC/AT は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media は Microsoft Corporation の登録商標です。
- Macintosh、iTunes は米国アップル社の商標です。
- MP3 オーディオ符号化技術は Fraunhofer IIS 社と Thomson 社からのライセンスに基づき製品化されています。
- NTT アドバンステクノロジー株式会社からの R-Talk ライブラリのライセンスに基づき製品化されています。R-Talk は日本とその他の国における登録商標もしくは商標です。
 - ① お客様は「VP-10」において、R-Talk ライブラリを非独占的に使用する権利のみが許諾されています。
 - ② お客様は、R-Talk ライブラリを複製することはできません。
 - ③ お客様は、R-Talk ライブラリを改変することはできません。
 - ④ お客様は、R-Talk ライブラリをリバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。
 - ⑤ お客様は、R-Talk ライブラリに関して、第三者に対する再実施権の設定、譲渡、貸与、または占有の移転をすることはできません。
 - ⑥ R-Talk ライブラリの著作権その他の知的所有権（但し、商標権を除く）は、すべて、日本電信電話株式会社に帰属します。

その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの取扱説明書をお読みのうえ、正しく安全にお使いください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。

安全に関する重要事項

- 安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
- 表示の意味は、次のようになっています。

危険

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される」内容を示します。

警告

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

注意

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容を示します。

本機について

警告

- 可燃性ガス、爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。引火、爆発の原因となります。
- 分解、修理、改造をしないでください。感電、けがををするおそれがあります。
- 車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。交通事故などの原因となります。
- 本機を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。幼児、子供の近くで使用するときは細心の注意を払い、不用意に本機から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができず、加えて以下のような事故のおそれがあります。例えば
 - －誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
 - －操作を誤りケガや感電事故などを起こす。
- 水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、
 - ①速やかに電池を抜いてください。
 - ②お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

- 航空機内や病院など使用に制限のある場所では使用をおやめになるか、その場所の指示に従ってください。

- 異臭、異常音、煙が出ていたりするなどの異常を感じたときはご使用を中止してください。

火災ややけどの原因となることがあります。やけどに注意しながらすぐに電池を取り出し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください（電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください）。

注意

- 操作前から、音量を上げないでください。

聴覚障害や聴力低下を引き起こすおそれがあります。

電池について

危険

- 火気のある場所に電池を置かないでください。

- 火の中への投入、加熱、⊕ と ⊖ 極間のショート、分解をしないでください。

火災、破裂、発火、発熱の原因となります。

- 直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。

- ⊕ と ⊖ 端子を接続しないでください。

発熱、感電、火災の原因となります。

- 電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護してください。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯・保管しないでください。

発熱、感電、火災の原因となります。

- 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。

- 直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置をしないでください。

液漏れ、発熱、破裂などにより、火災、やけど、けがの原因となります。

警告

- 濡れた手で触ったり持ったりしないでください。

感電や故障の原因となります。

- 外装にキズや破損がある電池は使用しないでください。

破裂や発熱の原因となります。

- 電池の極性（⊕ と ⊖）を逆に入れてください。

液漏れ、発熱、発火、破裂するおそれがあります。

- ・ 外装シール（絶縁被覆）の破れた電池を使わないでください。

- ・ 長期間使用しないときは、必ず電池を取り出してください。

- ・ 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示に従って廃棄してください。

- 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れのおそれがあります。
- 電池の液が目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。
- 充電できないアルカリ乾電池、リチウム乾電池などを充電しないでください。
- 電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。
幼児・子供が電池を飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- 万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、
 - ① けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。
 - ② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災ややけどの原因となります。
- 水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。
- 液漏れ、変色、変形、その他の異常が発生した場合は、使用を中止してください。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

- 電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

⚠ 注意

- 電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。
- 充電機をはじめて使用する場合は、また長時間使用していなかった場合は、ご使用前に必ず充電してください。
- 充電機には寿命があります。指定する条件で充電しても使用時間が短くなったときは寿命と判断し、新しい充電機と取り替えてください。

充電式電池の廃棄について

- 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、⊕と⊖端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

詳しくは一般社団法人 JBRC ホームページ (<http://www.jbrc.com>) をご覧ください。



Ni-MH

使用上のご注意

- 直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- 水気がついたら、すぐに乾いた布で水分を拭き取ってください。特に塩分は禁物です。
- テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
- 砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障になることがあります。
- 強い振動やショックを与えないでください。
- 水気の多い場所で使用しないでください。
- 磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータに異常が生じることがあります。

＜データ消失に関する注意事項＞

- 内蔵メモリへの記録内容は、誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消えることがあります。
- また、内蔵メモリは長時間の保存や繰り返し使用するうちに書き込みや読み出し、消去等ができなくなることがあります。
- 大切な記録内容はパソコンのハードディスクや他の記録メディアにバックアップし、保存されることをおすすめします。
- 記録されたデータの破壊・消失による損害および逸失利益などに関しては、その内容や原因に関わらず、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

＜録音したファイルに関する注意事項＞

- 本機やパソコンの故障により、録音したファイルが消去されたり再生不能となった場合でも、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

＜本機の譲渡や廃棄に関する注意事項＞

- 初期化 (P.95) や消去 (P.41) を行っても、ファイルの管理情報が更新されるだけで内蔵メモリに記録したデータは完全には消去されません。譲渡または廃棄の際には、初期化したあと、残り時間がなくなるまで無音録音するなどして、個人情報の流出を防いでください。

主な仕様

一般事項

■ 記録形式：

リニア PCM (Pulse Code Modulation) 形式

MP3 (MPEG-1 Audio Layer3) 形式
WMA (Windows Media Player) 形式

■ サンプル周波数：

リニア PCM 形式

22.05 kHz/16 bit	22.05 kHz
------------------	-----------

MP3 形式

128 kbps	44.1 kHz
----------	----------

WMA 形式

32 kbps mono	44.1 kHz
5 kbps mono	8 kHz

■ ヘッドホン最大出力：

3 mW + 3 mW (16 Ω負荷時)

■ 記録媒体*：

内蔵型 NAND FLASH メモリ：4 GB

* メモリ容量の一部を管理領域として
使用しているため、実際に使用できる
容量は少なくなります。

■ スピーカ：

φ 10 mm 丸型ダイナミックスピーカ
内蔵

■ イヤホンジャック：

φ 3.5 mm インピーダンス 8 Ω以上

■ スピーカ実用最大出力：

90 mW (スピーカ 8 Ω)

■ 電源：

規定電圧：1.5 V

電池：単4形乾電池1本 (LR03)
またはオリンパス製ニッケル水素充電電池
1本

■ 外形寸法：

17 mm × 130 mm × 17 mm
(最大突起部含まず)

■ 質量：

37.5 g (電池含む)

■ 使用温度：

0 ~ 42°C

■ 同梱品：

本体/単4形ニッケル水素充電電池 × 1 /
USB 延長ケーブル (KP19) × 1 /
取扱説明書 (保証書付)

周波数特性

■ 内蔵ステレオマイク録音時：

リニア PCM 形式

22.05 kHz/16 bit	50 Hz ~ 10 kHz
------------------	----------------

MP3 形式

128 kbps	50 Hz ~ 17 kHz
----------	----------------

WMA 形式

32 kbps mono	50 Hz ~ 13 kHz
5 kbps mono	50 Hz ~ 3 kHz

■ 再生時：

20 Hz ~ 20 kHz

電池持続時間

以下の値はあくまでめやすです。

■ 内蔵ステレオマイク録音時（内蔵メモリ使用時）：

録音モード		電池持続時間	
		アルカリ乾電池	ニッケル水素充電池
リニア PCM 形式	22.05 kHz/16 bit	約 24 時間	約 20 時間
MP3 形式	128 kbps	約 27 時間	約 22 時間
WMA 形式	32 kbps mono	約 33 時間	約 26 時間
	5 kbps mono	約 50 時間	約 38 時間

■ 音声ファイル再生時（全再生モード）：

スピーカ再生時

録音モード		電池持続時間	
		アルカリ乾電池	ニッケル水素充電池
リニア PCM 形式	22.05 kHz/16 bit	約 19 時間	約 16 時間
MP3 形式	128 kbps	約 21 時間	約 18 時間
WMA 形式	32 kbps mono	約 24 時間	約 19 時間
	5 kbps mono	約 24 時間	約 19 時間

イヤホン再生時

録音モード		電池持続時間	
		アルカリ乾電池	ニッケル水素充電池
リニア PCM 形式	22.05 kHz/16 bit	約 23 時間	約 19 時間
MP3 形式	128 kbps	約 28 時間	約 22 時間
WMA 形式	32 kbps mono	約 29 時間	約 23 時間
	5 kbps mono	約 29 時間	約 23 時間

ご注意

- 電池持続時間は当社試験法によるものです（LED 表示ランプ：OFF）。使用電池、使用条件により大きく変わります（特にノイズキャンセル、ボイスバランス、再生シーン、再生速度、ソク録モード等の機能を使用した場合は電池持続時間に大きく影響します）。

主な仕様

録音時間

以下の値はあくまでめやすです。

■ リニア PCM 形式：

録音モード		内蔵メモリ (4GB)
リニア PCM 形式	22.05kHz/16 bit	約 12 時間

■ MP3 形式：

録音モード		内蔵メモリ (4GB)
MP3 形式	128 kbps	約 66 時間

■ WMA 形式：

録音モード		内蔵メモリ (4GB)
WMA 形式	32 kbps mono	約 258 時間
	5 kbps mono	約 1620 時間

ご注意

- ・小刻みに録音を繰り返したときは、録音可能時間がこれより短くなる場合があります（録音可能時間および録音時間表示はめやすとしてご使用ください）。

1 ファイルあたりの最長録音時間

- 1 ファイルあたりの最大容量は、MP3 形式は約 4GB、リニア PCM (WAV) 形式は約 2GB に制限されています。
- メモリ残量にかかわらず、1 ファイルあたりの最長録音時間は以下の値に制限されています。

■ リニア PCM 形式：

録音モード		録音時間
リニア PCM 形式	22.05 kHz/16 bit	約 6 時間 40 分

■ MP3 形式：

録音モード		録音時間
MP3 形式	128 kbps	約 66 時間

■ WMA 形式：

録音モード		録音時間
WMA 形式	32 kbps	約 26 時間 40 分
	5 kbps	約 148 時間 40 分

記録可能な曲数

以下の値はあくまでめやすです。

4GB	約 950 曲
-----	---------

128 kbps、1 曲 4 分換算

本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

索引

記号

- ▶PLAY/■STOP ボタン 11, 16, 34, 43
- + ボタン 7, 11, 16, 34, 43
- ◀◀▶▶▶ ボタン 12, 16, 31, 43, 92

アルファベット

L

- LED [LED] 80
- LED 表示ランプ 10, 16, 19, 80, 103

M

- MENU/SCENE ボタン 12, 16, 28, 33, 39, 43, 92
- MP3 58, 108

O

- OK ボタン 7, 16, 29, 35, 38, 43

P

- POWER/HOLD スイッチ 6, 16, 24, 37

R

- REC スイッチ 10, 16

U

- USB 延長ケーブル 19, 101
- USB 接続 AC アダプタ 21
- USB 端子 16, 19
- USB 端子カバー 16, 19

V

- VCVA 63

W

- WAV 58, 108
- WMA 58, 108

かな

い

- イヤホンジャック 16, 27
- インデックスマーク 35
- イントロ再生 84

お

- オートパワーオフ 24, 85
- 音楽ファイル 108
- 音声起動レベル 64
- 音声起動録音 63

か

- カーソル 18
- 外部メモリ 106

く

- クリップ 16, 61

け

- 言語選択 82

こ

- 擦れ音フィルタ 60
- コントラスト 79

さ

- 再生シーン 33
- 再生スピード 34
- 再生設定 65
- 再生範囲 69
- 再生フォルダ 75

し

- システム情報 98
- 充電 19, 21, 23
- 初期化 95
- シリアルナンバー 5

- す**
 スキップ間隔.....73
 スピーカ出力.....83
- せ**
 設定リセット.....94
- そ**
 ソク録モード.....87
- て**
 ディスプレイ.....16, 17, 116
 電池カバー.....4, 16
 電池設定.....7, 89
 電池表示.....17, 22
 テンブマーク.....35
- と**
 動作環境.....99
 時計設定.....8, 90
- な**
 内蔵ステレオマイク.....10, 16
 内蔵スピーカ.....16, 83
- の**
 ノイズキャンセル.....65
- は**
 バックライト.....78
- ひ**
 ビープ音.....81
 日付検索.....39
 表示/音設定.....78
- ふ**
 ファイル.....75, 104
 ファイル消去.....12, 41
 ファイル分割.....52
- ファイル編集.....50
 ファイルロック.....50
 フォルダ.....75, 104
 プロパティ.....54
- ほ**
 ボイスバランサー.....67
 本体設定.....85
- み**
 ミュージックフォルダ.....75, 107
- め**
 メニュー設定.....43
 メモリ情報.....97
- り**
 リニアPCM.....58, 108
 リピート.....71
- れ**
 レコーダーフォルダ.....75
- ろ**
 ローカットフィルタ.....62
 録音シーン.....28
 録音設定.....56
 録音モード.....58
 録音レベル.....56

MEMO

MEMO

<保証規定>

1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書に従った正常なお取り扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
2. 有効期間内に故障して無料修理を受けられる場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店又は別紙の当社サービスステーションに依頼してください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後6年間をめやすに保有しており、期間中は原則として修理をお受けいたします。期間後でも修理可能な場合もありますのでお問い合わせください。
3. 販売店、または当社サービスステーションにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。また販売店と当社間の運賃諸掛につきましては、輸送方法によって（問屋便以外を使用した場合）一部ご負担いただく場合があります。
4. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、最寄りの当社サービスステーションにお問い合わせください。
5. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。従って、この保証書は、オリンパス株式会社、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

6. 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
7. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
 - イ. ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解・掃除等による故障。
 - ロ. お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
 - ハ. 火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・その他、天災・地変による破損又は故障。
 - ニ. 本書のご提示がない場合。
 - ホ. 本書にお買い上げ年月日、シリアル No.、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - ヘ. 電池等の消耗品による故障。
8. 保証の対象は本体のみです。

<保証書取扱い上の注意>

本書は日本国内においてのみ有効です。(THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN) 販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

<保証責任者・保証履行者>

オリンパス株式会社
〒192-8507 東京都八王子市石川町 2951

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から1年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部 品 代	修 理 工 料
本 体	1 年		無 料
品 名	ボイストレック	型 名	VP-10
シリアル No.		お買い上げ日	年 月 日
販 売 店 名	<h1>無 効</h1>		

OLYMPUS®

オリンパス 株式会社

〒192-8507 東京都八王子市石川町2951

● ホームページによる情報提供について

製品仕様・パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。
また、オンライン修理受付の詳細やインターネットでのお申し込み、修理に関するお問い合わせ先（修理センター、国内サービスステーションなど）、カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間につきましても当社ホームページで最新情報をお知らせしております。
オリンパスホームページ <http://www.olympus.co.jp/> から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）



0120-084215

携帯電話・PHSからは042-642-7499

FAX 042-642-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

便利でお得なサービスメニューをご用意しています。

● オンライン修理受付のご案内

オンライン修理受付では、インターネットを利用して修理のお申し込みや修理の状況をご確認いただけます。また、下記にご案内しておりますピックアップサービス（引取修理）もオンライン修理受付からお申し込みいただけます。

● ピックアップサービス（引取修理）のご案内

オリンパス指定の運送業者が、梱包資材を持ってお客様のご指定の日時にご自宅へお伺いし、故障した製品をお預かりします。
お客様自身での梱包は不要です。その後弊社にて修理完成後、お客様の自宅へお返しいたします。

電話でのお申し込みの場合：「オリンパス修理ピックアップ窓口」

0120-971995

営業時間：平日 8：00～20：00

土・日・祭日 9：00～18：00（指定休業日を除く）

※ 記載内容は変更されることがあります。